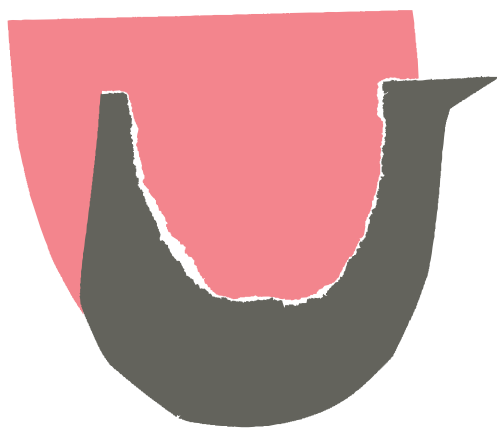


日本歯科大学 新潟生命歯学部

The Nippon Dental University School of Life Dentistry at Niigata



2つの歯学部

学生諸君へ

日本歯科大学は、明治40年に創立されました。それから65年後の昭和47年に、第2歯学部として新潟歯学部を増設しました。

明治の当時も昭和の当時も、歯科医師が過少という医療状況にあって、本学は、国民社会の要請に即応したのです。その結果、本学は、2つの歯学部を有する唯一の歯科大学、となりました。

第2歯学部の基本構想は、東京の既存の歯学部とは違う歯学部を造ることでした。そこで、地方都市に新しい特色あるキャンパスをめざして、まだ裏日本といわれていた日本海側の新潟市を選定しました。すでに、上越新幹線の開通計画がありましたので、東京の歯学部と新潟歯学部を結ぶ日帰り圏という立地であることも、選定の理由になりました。

東京の歯学部は皇居と外濠の間に位置する首都の中心地にあります。また新潟歯学部は、政令指定都市の中心地に緑豊かなキャンパスが広がります。

首都東京に憧れをもつ諸君は多いでしょう。一方、ローカル色を好む諸君も少なくありません。東京の歯学部も新潟歯学部も、どちらも魅力あり良い所が沢山あります。

そのいずれが自分に合うか、を判断基準にすることをお勧めします。どちらを選んでも6年後には、飯田橋あるいは新潟市が第2の故郷となるでしょう。

さらには、東京の歯学部で学んでも新潟歯学部で学んでも、諸君は同じ日本歯科大学の卒業生として巣立っていきます。同じ年の卒業生は、東京・新潟ともに同級生なのです。

卒業後には、日本歯科大学卒として日本歯科大学校友会に所属します。そして、同じ釜の飯を食った仲間として、また同じ仕事に携わる職業人として、大きな強い絆で結ばれます。

私は、日本歯科大学を卒業して後悔した人はいない、と信じています。

学校法人
日本歯科大学理事長
日本歯科大学学長

中原 泉





学校法人
日本歯科大学理事長
日本歯科大学学長
中原 泉

歯科界の源流として

日本歯科大学は、中原市五郎によって、明治40年（1907）6月、公立私立歯科医学校指定規則に基づくわが国最初の歯科医学校として創立されました。当時、歯科医療は黎明期にあり、「学・技両全にして人格高尚なる歯科医師の養成」を建学の目的としました。そして歯・顎・口腔の医学を教導し、学・術・道を兼ねそなえた歯科医師を輩出し、歯科医学の進展、歯科医療の向上、患者国民の福祉に尽力しました。

私学として創立者の「自主独立」という建学の精神を継承し、平成30年（2018）に創立112周年を迎えました。この112年におよぶ歴史と伝統は、本学がわが国の“歯科界の源流”といわれる由縁であります。



創立者中原市五郎



日本歯科医学専門学校指定第1回卒業生と職員

歯科医療の新時代をリードする

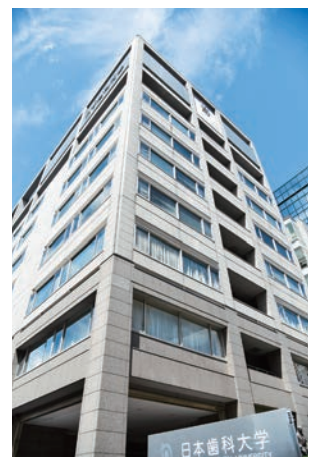
世界最大の歯科大学である

日本歯科大学は、現在、歯科医学の総合的大学として、2つの歯学部を有する唯一の歯科大学です。東京と新潟の両キャンパスを合わせて、2つの大学院研究科、2つの歯学部、3つの附属病院、2つの短期大学、および博物館などを擁し、学生総数約2,000名、専任教職員数約1,000名、および卒業生総数約20,000名を数えます。

本学は、まぎれもなく世界最大の歯科大学であります。



新潟生命歯学部



生命歯学部

「生命歯学部」のフロントランナーとなった

日本歯科大学は、学部等の名称を『生命歯学部』に変更しました。これは、歯科医学は生命体を学ぶ学問であり、歯科医療は生命体への医行為であることから、生命科学のレベルに相応しいネーミングとして、生命という2字を冠したのです。これによって、歯科学生と歯科医師の意識を改革し、患者国民の歯科に対するイメージを一新することを期しています。

フロントランナーとして投じたこの一石が、歯科界はじめ患者国民の意識革命を促すものと信じています。



医科病院での臨床実習



臨床実習（訪問歯科診療）



臨床基礎実習

日本歯科大学 新潟生命歯学部

動画をCheckしてみてね!!



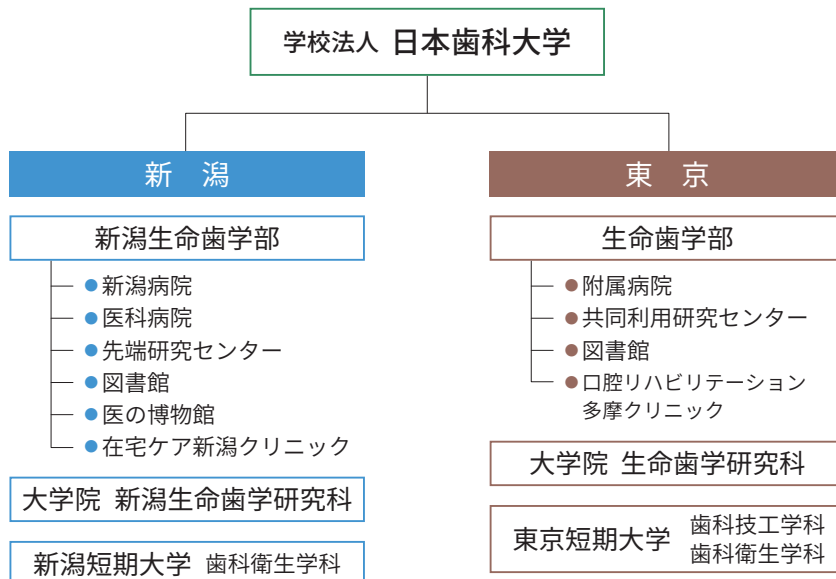
スマートフォンやタブレット端末などでQRコードを読み取ると動画を見ることができます。パンフレット内に数カ所ありますので探してみてください。



新潟病院



医の博物館





20年後の 歯科界の風を感じる 歯科大学



藤井 一維
Kazuyuki FUJII
日本歯科大学
新潟生命歯学部 学部長

新潟生命歯学部は、昭和47年（1972）の増設以降、次々と新しいことに取り組んできました。

歯科病院に全国で唯一併設されている医科病院は、「歯科で臨床医学？」と思われていた時代に全国の歯科大学ではじめて医科病院を開院しました。また、今から30年前、世の中が「これから高齢化社会が来るかもしれない」と思いはじめたものの、「歯医者の訪問診療」など誰もが悪くもしなかった時代から、在宅往診ケアチーム（現在の訪問歯科口腔ケア科）を行っています。

そして昨年には、外来患者を受けない訪問診療専門のクリニックを近隣の三条市に歯科大学・歯学部としてはじめて開設しました。

このように、本学は、常に生命体との関連性や社会の変化に対応できることを念頭におき、6年一貫性教育によるカリキュラムを編成し、口腔と全身を診ることのできる、20年、30年先の歯科界で



生き抜ける歯科医師の養成を目指しています。

特に、世界でも類を見ない超高齢社会を迎えるにあたり、訪問歯科医療や口腔ケアの施行、医師・看護師・薬剤師・介護関係者など歯科医療従事者以外の多職種とも連携して地域包括ケアシステムに順応できる地域密着型の歯科医師の育成を重視しています。

また、これからの歯科医師は、子どもから高齢者までの「食」を指導する時代になります。これに対応すべく、3年前より、食育・健康科学講座を歯科大学でははじめて開設し、講義に取り入れています。

本学は、社会のニーズが「むし歯を治療する歯科医師」から「健康やかに生きるを守る歯科医師」へと大きく変化している時代に対応する、この変化の風を感じる歯科大学です。

建学の精神と目的

本学は、その創立以来建学の精神を「自主独立」、学校の目的を「学・技両全にして人格高尚なる歯科医の養成」と定め、百年を超える年月において脈々と継承している。

基本理念

本学は、高等教育機関として、広く知識を授けるとともに、深く歯・顎・口腔の医学を教授研究し、知的、道徳的および応用能力を展開させることを目的とし、もって人類の文化の発展と福祉に寄与し、国民の健康な生活に貢献することを使命とする。

教育目標






1. 幅広い教養と倫理観を持った医療人の育成
2. 問題を発見し解決する能力を持った医療人の育成
3. コミュニケーション能力のすぐれた医療人の育成
4. 歯科医学の最新の知識を生涯学び続ける能力を持った医療人の育成
5. 科学的根拠に立脚した医療を実践できる医療人の育成
6. 専門に偏らない幅広い知識と技能を有する医療人の育成
7. 僻地医療や高齢者の介護福祉など地域医療に貢献できる医療人の育成
8. 口腔疾患を全身的関連で把握することのできる医療人の育成
9. 健康増進と疾病の予防に貢献できる医療人の育成
10. 世界をリードする国際性を有する医療人の育成

ディプロマポリシー

日本歯科大学は修業年限以上在籍し、各学科所定の単位数を修得するとともに、以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与します。

- 生命体との関連性に幅広い知識を有し、必要に応じて応用できる能力
- 幅広い教養と倫理観を持つプロフェッショナルリズムを備えた医療人として行動できる能力
- 根拠に立脚した歯科医学知識を生涯学び続け、患者の問題を発見し解決する能力
- 高いコミュニケーション能力を身につけ、患者および医療系多職種と良好な連携が構築できる能力
- 専門に偏らない幅広い知識を身につけ、その基本的技能を実践する能力
- 超高齢社会に対応した地域包括ケアを実践できる能力
- 医療人として国際社会において幅広く活動できる能力
- 生涯にわたり自らの能力向上のため研鑽する能力

01 世界最大の歯科大学

大学院		2
歯学部		2
病院		3
短期大学		2
博物館		1

02 世界最多の歯科大学卒業生数



03 わが国歯科大学唯一の三桁の卒業回数



個性あふれる 伝統の日本歯科大学



07 東京都の中心・飯田橋に位置する地の利



11 わが国歯科大学最多、16カ国18大学と国際姉妹校提携



12 プリティッシュ・コロンビア大学、ワシントン大学と「交換留学」30回



13 わが国歯科大学最多の大学ワークショップ開催



17 わが国唯一の訪問歯科診療科「訪問歯科口腔ケア科」



18 私立歯科大学初、附属病院の日本医療機能評価機構の認定



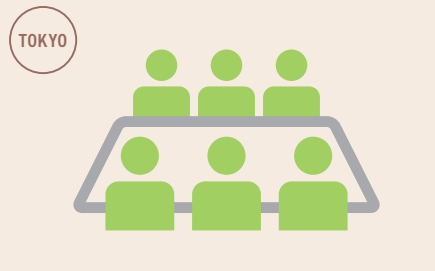
19 わが国唯一の口腔リハビリテーション専門医院「多摩クリニック」



22 歯の幹細胞による歯の再生の研究



23 私立大学最初の「特定認定再生医療等委員会」の設置



04 わが国唯一の「生命歯学部」の学部名



05 2つの歯学部を有する唯一の単科大学



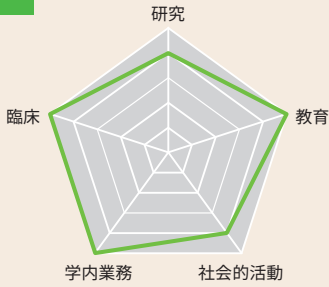
06 わが国初の歯科医学校

旧歯科医師法の制定に伴い、明治40年に設立されました。

日本歯科大学の前身、私立共立歯科医学校が創立された東京都千代田区大手町にある「日本歯科大学発祥の地」の碑

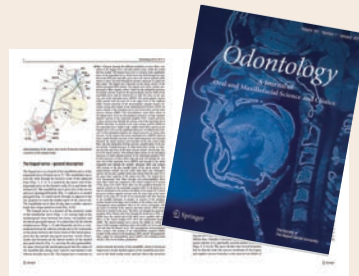


08 本学教員評価法の確立



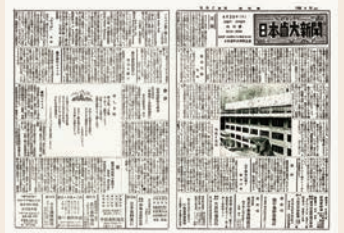
09 IFを有する国際歯科学術誌『Odontology』の刊行

p40



10 わが国最古級の大学新聞『日本歯科大学新聞』の刊行

p60



日本歯科大学新聞創刊号(昭和23年)

14 わが国唯一の総合歯科医学事典『常用歯科事典』の刊行



15 わが国唯一の公的医学博物館「医の博物館」

p58



医の博物館内部

16 わが国唯一の歯科病院と併設の医科病院

p29



耳鼻咽喉科診療

20 最先端の臨床基礎実習施設

p34



マルチメディア臨床基礎実習室(新潟生命歯学部)

21 学生実習用患者ロボット「シムロイド」の開発

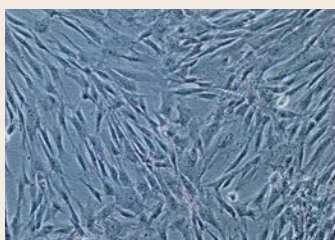


患者ロボット「シムロイド」



内視鏡検査

24 歯髄幹細胞による肝硬変等治療の研究



歯髄幹細胞

25 わが国歯科大学唯一の再生医療のための「歯の細胞バンク」設立



細胞培養加工施設

26 わが国歯科大学最初の訪問歯科専門の診療所「在宅ケア新潟クリニック」

p33



在宅ケア新潟クリニック

学ぶ

知識と技術は、車の両輪です。この2つが相まって力を発揮するのです。本学では、6年間の知識の習得を、一般教育系科目、歯科基礎系科目、臨床系科目へとグレードを上げながら、カリキュラムにしたがって学びます。知識は技術の裏付けとなるものですから、徹底的に習得することが必要です。学びの環境が整った日歯新潟で学んでみてはいかがでしょうか。

プロフェッションを意識した歯科医師を目指す

本学は創立以来、自立して歯科医療を担うことができる医療倫理観をそなえた歯科医師の育成に努めています。医学の一領域・人体の健康を担う医療人として、歯だけでなく生命体に対する医療行為として学ぶことに力を入れています。

新潟生命歯学部は、6年一貫制のカリキュラム編成にしたがい、一般教育から、基礎、臨床教育へと効率的で整合性のある講義・実習を実施しています。

さらに、自己学習能力やコミュニケーションの能力を高める

ために、PBLテュートリアル教育（問題基盤型学習）を積極的に取り入れています。

また、第5学年での新潟病院の臨床実習と並行して保健所、福祉施設、保育園でのフィールド実習も行っています。歯学生が医療チームの一員として医療行為の一部を行い、歯学生として責任を負うことによって、歯科医師となるために必要な知識・技能のみならず態度や価値観などプロフェッショナルリズムを身につけることができます。



日歯新潟で学ぶ
現役学生の声





磨く

繰り返し、根気よく訓練することが技能の習得には欠かせません。講義でしっかり習得した知識が実習をスムーズに運ぶポイントです。よくいわれる、器用とか不器用とかは関係ありません。訓練次第で乗り越えることが可能なのです。できるまで、何度も何度もチャレンジすることで、歯科医師として、人として大切な忍耐力も磨かれます。たゆまぬ努力こそ、歯科医師への早道といえるでしょう。



育む

出会いは、いつも新鮮です。大学に出会い、クラスメートに出会い、教師に出会い、患者さんに出会い……。さまざまな出会いのなかで、豊かな人間性と教養人としての素養を磨き、歯科医師としての優れた見識を養うことが大切です。日歯新潟で過ごす6年間の多くの出会いによって自然と「思いやりの心」が身についていることでしょう。ここには人を育むすばらしい環境があります。

日歯新潟で歯科医師を目指す！

在学生
×
OB

少しずつ大学生生活に慣れてきた2年生の上津さん(左)、目標の歯科医師に近づいてきた5年生の辻村君(右)、そして、新潟病院で臨床研修歯科医をしている平井先生(中央)に本学の魅力や大学生活について語り合ってもらいました。

座談会当時、上津さんは1年生、辻村君は4年生、平井先生は歯科医師臨床研修医



歯科医師を目指したきっかけは

上津 平井先生が歯科医師を目指したきっかけは何ですか？

平井 両親ともに歯科医師で、実家が歯科医院でした。子どもの頃から両親の働く姿や患者さんに感謝されているところを見て、人のためになり、感謝される仕事は素晴らしいなと思い歯科医師を目指しました。辻村君と上津さんは？

辻村 僕も実家が歯科医院で、父が歯科医師で母が歯科衛生士という環境で育ったこともあり、歯科医師を目指しました。

上津 高校で進路を考えていた時に、医療系に進みたいと思っていて、歯科医師である父に相談した時に「歯科医師はどう？」と勧められたことですね。

平井 日歯新潟に入ったきっかけは？

上津 父が本学出身だったので、本学のことを聞いたところ「先生との距離が近くて、縦のつながりも強いから、在学中はもちろん将来も困ることはない」とアドバイスしてもらったことが一番大きいですね。

辻村 本学が昔から訪問歯科診療に力を入れていることを知り、これから高齢社会になるにつれてその分野を病院実習などで学べることに魅力を感じました。また、特待生制度もきっかけのひとつで

す。平井先生は？

平井 僕も特待生制度があった点と、東京などの都会だとにぎやかで、勉強に集中できないかもしれないと思い新潟を選びました。結果的に落ち着いて学べたので本学でよかったですね。

上津 平井先生は臨床研修歯科医をなさっていますが、どのようなことをしているのですか？

平井 学生時代ではやらなかった保険診療について学びながら、指導医のもとで実際の患者さんの治療を行っています。

辻村 臨床研修歯科医としてどんなときが一番大変ですか？

平井 5年生では病院実習で患者さんと接するのですが、研修歯科医は歯科医師の免許を持っていますし、患者さんからは先生として見られますので責任感やプレッシャーは感じますね。それでも、治療が終わった際に笑顔で「ありがとう」と言われたり、痛くて嘔めなかったことが改善されて患者さんの生活が変わったり、豊かになると思うと、とてもやりがいがありますね。

勉強の悩みあれこれ

平井 普段の大学での授業について悩みはあるかな？

上津 全部が大変です(笑)。特に授業

時間が90分と長いので集中力が続かないのが悩みです。

平井 そうだね、大学だと1コマの授業時間は長くなるね。今は教養科目が多いと思うので、興味がない科目は集中力が続かないかもしれないけれど、今後歯科に関する科目がメインになってくるので、興味も出てきて自然と集中力は持続できるようになると思うよ。また、90分ずっと集中するのは難しいと思うけど、90分の授業の中で重要なポイントは必ずいくつかあるので、そこを聞き逃さないような訓練を今のうちから意識してるといいね。

辻村 4年生になると毎日実習があって



上津 菜々子 Nanako KAMITSU
新潟生命歯学部2年
[北海道旭川市出身]

大変なのですが、中でも座学で習ったことを頭では理解しているのですが、いざ実際に実習でやろうとするとうまくいかなくて難しいことが多いです。

平井 たしかに、座学で習ったことを臨床実習とリンクさせることは難しいですよ。まず大切なのは知識の整理。実習前に教科書を読んで、その分野に関する知識を改めてしっかりと整理して、わからないところがないようにしたいですね。また、先生のデモンストレーションをただ見るだけでなく、「なぜこの操作をするのか」を考えながら見ていくと自然と理解できていくようになると思います。それでも、もちろんわからないことは出てきますので、その際にはしっかり先生に質問して疑問点を持ち越さないことが大切ですね。

辻村 ありがとうございます、早速実践してみたいと思います。もう1点あるのですが、だんだん国家試験が近づいてきました。平井先生はどのように乗り越えましたか？



平井 悟 Satoru HIRAI
平成29年度 新潟生命歯学部卒業
【静岡県榛原郡出身】

平井 勉強するときと息抜きをするときをはっきりとメリハリをつけていました。それと先ほども言ったのですが、わからないところがあった時には、わかるまでしっかりと追求することが大事ですね。苦手な分野があった際に、「この分野は出題されないだろう」と自分に都合の良いように考えてしまう人は、当時まわりを見ていると点数が安定していませんでしたね。僕は6年生から本格的に国

家試験の受験勉強をするようになったのですが、合格はしたものの、始めるのが遅かったなと感じますので、もっと前からコツコツ勉強していくといいと思います。

日歯新潟の魅力について

上津 平井先生は本学の魅力はどこにあると思いますか？

平井 たくさんあるけれど、特に良いなと思ったのは、訪問歯科診療に強みがあるということですね。5年生の病院実習時には訪問歯科診療に同行し、診療補助や口腔内の清掃をさせていただきました。研修歯科医になってからも訪問歯科診療の研修がありますので、とても勉強になりました。

辻村 普段の診療との違いはどんなところですか？

平井 普段の診療では患者さんはユニットで処置するので、自分の診療しやすい姿勢を保つことができますが、訪問診療では車いすや、ベッドで寝たきりの患者さんがいますので、姿勢をいろいろ工夫しながら処置しないといけないですね。また、基本的に来院できない患者さんですので、他の病気を抱えていらっしゃる人が多いので、細心の注意を払いながら治療を行わないといけません。ですから臨機応変さも求められると思います。辻村君にとって本学の魅力は？

辻村 クラスの人数が他の大学などと比べても多くないと思うので、クラスメイト全員が授業や実習を通して一致団結して、歯科医師という目標に向かっていると感じる点ですね。コミュニケーションを養う実習もあり、今まであまり話す機会のない学生とも実習を通じて仲良くなったりできます。そういった環境がとても良いと思います。

上津 私もクラスメイトはもちろん、先輩方や先生方もフレンドリーで接しやすいので、多くの人とつながりが持てるのが良い点だと思います。部活の先輩の中には他の大学を出てから入学している人や、さまざまな出身県の人などもお話するのが楽しく、人生の幅が広がると思います。



辻村 大河 Taiga TSUJIMURA
新潟生命歯学部5年
【北海道札幌市出身】

平井 部活は何やっているの？

上津 硬式テニスと学生会に入っています。学生会では浜浦祭（文化祭）の運営に携わったのですが、学生だけでさまざまな企画を考えて開催しました。楽しくもあり大変でもあるのですが、社会経験も積めるので良かったです。

辻村 僕はサッカー部に入っています。実習で大変な時も放課後に体を動かすことでストレスも発散できますし、クラブ活動に入っていてよかったと思います。

平井 そうだね、僕も水泳部に入っていたけれど、クラブ活動は先生方や先輩方と縦のつながりができるので、交友関係が広がりおススメですね。では最後に、これからこの大学を目指す学生さんにひとことあるかな？

辻村 さっきも少し話したのですが、少人数のクラスということもあり、歯科医師という同じ目標に向けてみんな仲がいいので、将来歯科医師になった際にも、同じ歯科医師仲間としてずっと親密な交流が続いていくと思います。一生の友達が多くできるこの環境で、皆さんも学んでみてはいかがでしょうか？

上津 1年通ってみて感じるのは、大学はアットホームな環境ですし、クラスメイト、先輩、先生方みなさん優しく、勉強面でも生活面でも困っていたら助けてくれます。入学したら充実した大学生活が送れると思います。

平井 学習面でも、IT教室やマルチメディア臨床基礎実習室など、充実した施設が整っています。ぜひ、本学で歯科医師を目指していただきたいです。

新潟で学ぶ、日歯大で学ぶ、学びの理想がここにある

1. 充実した臨床研修の場——新潟病院・医科病院

日本歯科大学新潟生命歯学部キャンパスには、新潟病院と医科病院があります。新潟病院は歯、顎、口腔の総合医療施設です。医科病院は、内科、外科、耳鼻咽喉科があり、新潟病院と同様に入院施設も備えます。本学の学生は、第5学年における臨床実習で新潟病院はもちろん、医科病院でも実習があります。近年の歯科分野は口腔だけでなく全身にも多く関係します。このような時代に即した臨床実習が行えるのは新潟生命歯学部の大きな特長となっています。 ➡ p28-29

第5学年の臨床実習では、東京の生命歯学部とも交流があります。新潟の学生は東京の附属病院で、東京の学生は新潟の新潟病院、医科病院で実習を行います。 ➡ p27



新潟病院での手術見学



新潟病院で実習する東京の学生



医科病院での手術見学



新潟病院



医科病院

2. 在宅歯科診療の先駆け

新潟病院では、開院以来地域歯科医療の拡充に務めてきました。寝たきりなどの事情で来院できない高齢者や障害者を対象として、1987年から全国歯科大学に先駆けて「訪問歯科診療」を行っています。本学の学生も、チームの一員として参加し各家庭や施設をまわり、在宅歯科医療の重要性を学びます。まだ記憶にも新しい2011年3月の東日本大震災ではいち早く被災地に医員を派遣し、口腔ケア支援活動や亡くなられた方の歯科的身元確認にあたりました。 ➡ p30-31



訪問歯科診療

教育、施設、環境、臨床、研究……など、日本歯科大学新潟生命歯学部の魅力は数多くあります。学びの理想、新潟生命歯学部のおもな特長をご紹介します。

3. 学習に適したさまざまな施設

新潟生命歯学部の学内には、いたるところに洗練された学びの環境があります。最新のIT機器やシステムを備えたマルチメディア臨床基礎実習室は第1学年から実習で使用します。自習の場としても、図書館や放課後の教室はもとより、ITセンター、学習室、セミナー室、レストラン（GAKUSHOKU）やロビーなどでも夜遅くまで学生たちが学んでいます。

➡ p16-17 p34-35



ITセンター



マルチメディア臨床基礎実習室

5. 国際交流を重視

日本歯科大学には世界に18の姉妹校・協定校があります。特にカナダにあるプリティッシュ・コロンビア大学（UBC）とは積極的に交流を行っています。ほかにも、台湾の中山医学大学、タイのマヒドン大学、中国の四川大學華西口腔医学院なども盛んに交流しています。また、IUSOH（口腔保健のための国際姉妹校連合）を結成し、グローバルな学術展開を行っています。

➡ p36-37 p42-43



プリティッシュ・コロンビア大学への交換留学



中山医学大学への交換留学

7. 魅力あふれる都市、新潟

日本海側最大の都市新潟。なかでも日本歯科大学新潟生命歯学部キャンパスは、新潟市中央区の緑も多く残る住宅街にあります。新潟駅周辺は大型店舗やファッションビルなどが並び、多くの人でにぎわっています。交通のアクセスも良く、東京までは新幹線で約2時間、沖縄や北海道にも新潟空港から直行便があるので短時間で行き来できます。新潟市内は気候も穏やかで、1、2月でも氷点下になることはほぼなく、雪も少なく、住みやすい環境です。さらに、新潟県内にはちょっと足を伸ばせば魅力的な観光スポットも多くあり、冬にはウィンタースポーツも気軽に楽しめます。

➡ p56-57



新潟市のシンボル萬代橋



ウィンタースポーツも楽しめる

4. 安心・安全な女子寮も完備

大学から徒歩5分という絶好のロケーションに新潟生命歯学部新潟寮（女子寮）があります。オートロックで管理人さんも常駐していますのでセキュリティ面もバッチリです。先輩も同期も歯科医師を目指すという目標を持った学生同士、ときに競い合い、ときに教え合い、ときに励ましあいながらともに学生生活を過ごします。歯科大学ならではの技工室も完備しています。女性のみ入寮可です。

➡ p44



新潟女子寮



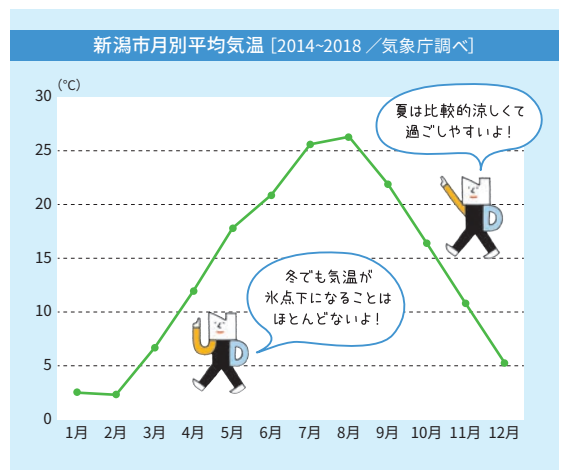
6. 国内唯一の医学博物館

医の博物館は、日本初の、また唯一の医学博物館として平成元年（1989）9月に開館しました。歴史的資料（史料）を通じて医学史を教育研究し、史料を一般公開することにより、学術文化に寄与することを目的としています。歯科のみならず、医学や薬学に関する史料（16世紀から現在までの東西の古医書、浮世絵、医療器械器具、薬看板、印籠など）約5,000点を展示、保管しています。

➡ p58

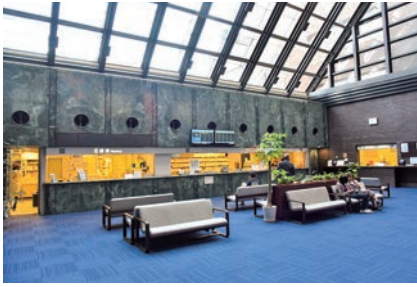


医の博物館



NDU CAMPUS MAP

A 新潟病院



8つの診療科、12の診療センターと特殊外来を持つ、歯・顎・口腔の総合病院。

B 医科病院



内科、外科、耳鼻咽喉科があります。

C 図書館



8万5千冊の蔵書、800を超える学術雑誌が収蔵されています。

D 学習室



静かな環境で落ち着いて学習できます。

E マルチメディア臨床基礎実習室



1号館の2階にある最新のIT機器とシステムを備えた実習室。

F 講堂



入学式・卒業式、学術講演などに使われます。

G GAKUSHOKU



ランチタイムには多くの学生で賑わいます。

H 医の博物館



日本初の公的な医学博物館です。

I セミナー室



4号館の2階にあり、グループ学習や夜間の課外勉強に利用されています。

J 学生会館

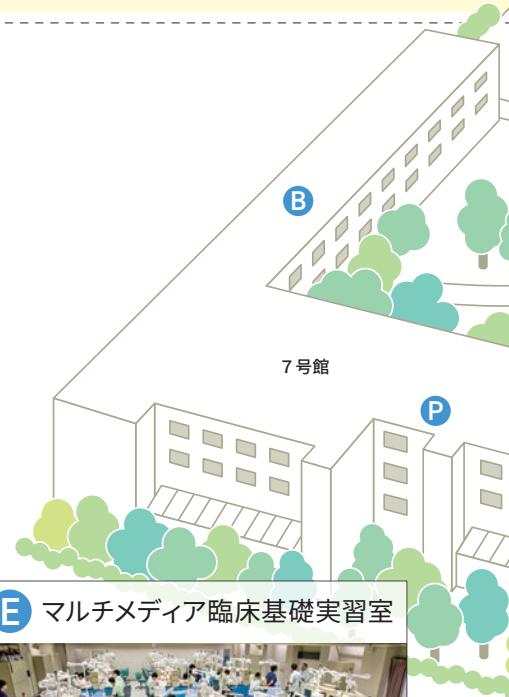


クラブの部室、剣道・柔道など武道系の道場があります。

K 体育館



建物の2階部分が体育館になっています。





L トレーニングルーム

ランニングマシンやエアロバイクなどさまざまなトレーニングマシンがあります。

M グラウンド

全面に人工芝を敷いたグラウンドはサッカー、ラグビーなどのクラブ活動で使用されています。

N 先端研究センター

最先端の研究を行っています。

O 日本歯科大学新潟短期大学

歯科衛生士を養成します。

P コンビニエンスストア

通常のラインナップに加え、歯ブラシなどの歯科用品も取り扱っています。

ロビー

各講義室の前にはロビーがあり、放課後には自習等にも使用されています。

新潟生命歯学部 の 6 年間

新潟生命歯学部の6年間は、知識の習得、技術の習得はさることながら、全人的医療、患者さんの立場にたった心ある医療人であるために不可欠なコミュニケーション教育を重視しています。

医療人初期教育と語学教育、PBLテュートリアル教育を行っています。

基礎系の歯学教育を中心に、理系の選択科目や臨床心理学、さらに国際性を有する医療人を育成するため、医療英語・英語会話教育を行っています。

基礎系および臨床系の科目で構成され、関連領域を統合して学ぶことを主としたPBLテュートリアル教育も行っています。

臨床系の歯学教育を中心として、さらに医療論理や医療法学、隣接科学も学び歯科医療コミュニケーションの実習も行っています。

1 学年

- 熱と物質の物理
- 生体物質の化学
- 細胞の生物学
- 自然現象の数学
- 歯学入門実習
- 初年次セミナー
- 総合英語
- 実用医学英語 I
- 基礎独語
- プロフェッション
- 基礎科学補講 I
- 基礎科学補講 II
- 基礎科学演習
- 情報科学の実習
- 国語表現法
- 歯科医学入門演習 (LBP)
- 社会学
- 経済学
- ドイツの生活と情報
- 青年心理学
- 環境学の基礎
- 医学概論・歯科医学史
- ファンダメンタルスキル実習 I・II
- ヒトの一生
- 臨床から振り返る基礎学
- 健康科学 I
- 材料科学
- 早期臨床実習 I

- 一般教育系科目
- 歯科基礎系科目
- 臨床系科目

2 学年

- 実用医学英語 II
- 英語会話 (Conversational English)
- 臨床心理学
- 原子核と放射線
- 物質の構造と反応
- 生命の連続性と遺伝子
- 生化学
- 解剖学
- 解剖学実習
- 生理学
- 感染微生物学
- 口腔解剖学
- 口腔解剖学実習
- 発生学
- 人類学
- 組織学
- 口腔組織学
- 薬物療法学
- 生体機能調節学
- 社会歯科入門
- 基礎口腔保健学
- 病理学
- 歯科薬物療法学
- 歯科理工学
- 歯科理工学実習
- 医療統計学
- 唾液と唾液腺
- 基礎歯科医学補講 I・II
- 口腔生化学
- 専門歯科治療概論
- 顎口腔運動制御学
- 健康科学 II

3 学年

- 歯科理工学
- 分子生命科学実習
- 組織・口腔組織学実習
- 生理学実習
- 生体防御学
- 感染微生物学・生体防御学実習
- 口腔病理学
- 歯科薬物療法学実習
- 地域口腔保健学
- 口腔保健学実習
- 病理診断学実習
- 口腔腫瘍学
- 歯科症候学演習 (PBL)
- 早期臨床実習 II
- 歯科矯正学
- 歯科矯正学実習
- 小児歯科学
- 歯内療法学
- 顎口腔機能診断学
- 顎口腔機能診断学実習
- 口腔顎顔面外科学
- ヒトと放射線
- 画像検査の基礎と応用
- 歯冠補綴架工義歯学
- 全部床義歯補綴学
- 部分床義歯補綴学
- 保存修復学
- 歯周疾患治療学

4 学年

- 歯科法医学
- 医療倫理
- 医療法学
- 歯科医療コミュニケーション実習
- 医療情報・医療管理学
- 歯科薬剤学
- 小児歯科学
- 小児歯科学実習
- 口腔顎顔面外科学
- 口腔顎顔面外科診断治療学
- 部分床義歯補綴学
- 部分床義歯補綴学実習
- 歯科麻酔と救急処置
- 歯周疾患治療学実習
- 全部床義歯補綴学実習
- 歯冠補綴架工義歯学
- 歯冠補綴架工義歯学実習
- 口腔顎顔面外科手術学
- 口腔外科学・全身管理学実習
- 保存修復学実習
- 歯内療法学実習
- 高齢者歯科学
- 障害者歯科学
- 歯性感染症
- 顎咬合診断・口腔インプラント学
- 口腔インプラント学実習
- 歯科医のための内科学
- 外科学
- 耳鼻咽喉科学
- 歯科心身医学
- 臨床診査・検査学



※記載のカリキュラムは平成30年度第1学年以降

新潟病院では、各科をローテーション方式でまわり、きめ細やかな実習を行います。総合診療科では診療事務も担当することで、一般歯科、診療の基本原理を理解し、基本的臨床能力を習得します。医科病院では、内科、外科、耳鼻咽喉科の各科で臨床実習があり、全身を学ぶ貴重な機会があります。また、診療問題の解決方法を学ぶPBL、TBL教育も行っています。

5年間で学んだ歯科基礎系科目と臨床系科目を統合し、再確認します。そして歯科医師として必要な知識を身につけ、歯科医師国家試験にそなえます。

5
学年

■臨床(病院)実習



6
学年

- 総合科目①
- 総合科目②
- 総合科目③

臨床研修

国家試験

カリキュラムポリシー

建学の精神である「自主独立」のもと、ディプロマポリシー（学位授与方針）に掲げる人材を育成するために、以下の通りカリキュラムを編成しています。

- ディプロマポリシー達成のため、シラバスに全授業科目の到達目標、学習方略、評価方法を明記し、学習計画を提示します。
- 歯科医学と生命体との関連性を念頭においた一貫教育を実施します。
- 初期教育として歯科医学生に必要な自然科学、人文・社会科学、語学教育、情報科学教育を行うとともに、医療人の基礎となるコミュニケーション能力、倫理観、プロフェッショナリズムに関する教育を実施します。
- 医療英語コミュニケーション学習や姉妹校への短期留学により、医療従事者としての国際感覚を醸成します。
- LBP (LTD Based PBL) により、論理的思考に基づく問題解決能力、科学的探究心を養成します。
- 歯学教育モデル・コア・カリキュラムを基本とした基礎医学、臨床歯科医学に関する教育を実施するとともに、臨床能力の習得をめざし基礎と臨床を統合した教育を実施します。
- 診療参加型臨床実習の準備教育として、臨床実習前に臨床歯科学の講義による知識の習得のみならず、臨床基礎実習(シミュレーション実習)による技能・態度の習得を目指した教育、ならびに医療スタッフの一員として参加するために必要な社会歯科学の教育を実施します。
- 学生が医療スタッフとして参加し、その一員として診療業務を分担しながら、歯科医師としての知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶため診療参加型臨床実習を実施します。
- 超高齢者社会のニーズに対応できる歯科医師を目指して、訪問歯科診療の臨床実習を実施します。
- 全身管理および他職種連携を常に念頭においた臨床実習を実施します。
- 教育課程の進級審査において、シラバスに目標として掲げられた能力を適正に評価します。

※ディプロマポリシーはP7に掲載

LBPの実施

LTD Based PBL



LBP (LTD Based PBL) は、LTD話し合い学習法に基づくPBLテュートリアル(少人数制で行う問題基盤型学習)のことで、PBLテュートリアルの進化形として本学で開発され、全国で初めて実施しています。本学のカリキュラムでは、初年次教育を支える授業科目のひとつである第1学年の歯科医学入門演習でLBPを行っています。

TBLも採用

Team Based Learning



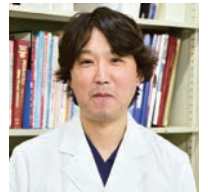
本学ではLBPに加え、TBLも授業で採用しています。TBLは少人数制のPBLを広い教室などで一斉に行うものですが、LBPと同様に自主的な学習が可能な授業形態で、より専門性の高いチューターのもと問題解決型の学習を行います。

BEST
LECTURE

ベストレクチャー賞
受賞

6年 小児歯科学

三瓶 伸也 講師
Shinya SANPEI



現在、第2～6学年の講義を担当しています。特に、講義の中で重視しているのは、視覚的なわかりやすさです。専門用語をわかりやすい言葉で説明することも大切にしていますが、イラストや写真などを豊富に提示することで、より学生の理解が深められるように努めています。

今回、第6学年の授業でベストレクチャー賞を拝受しました。この学年は歯科医師国家試験に直結するため、大変光栄に思います。しかしながら、学生からの批判的な意見がなかった訳ではありません。受賞に満足せず、さらなる向上を目指し、学生教育に尽力していきたいと考えています。

■ベストレクチャー賞…学生によるアンケート結果から、毎年最も評価の高かった講義に対しベストレクチャー賞を授与しています。



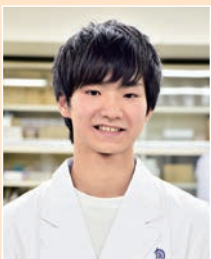
医療人としての

豊かな人間性を育む

小田 都和

Towa ODA

—
新潟生命歯学部1年
[新潟県村上市出身]



第1学年のファンダメンタルスキル実習では、実際にワックスを加工したり石膏を使用するなど、歯科材料に触れます。早期臨床実習では、病院内部を見学して診療現場の雰囲気に触れることで歯科医師となる自分の姿を想像することができます。

また、講義の中では後期から始まる材料科学が好きでした。初めて学ぶ専門の科目で、歯科材料の基本を学習することができるので、とても興味深く、

積極的に取り組むことができました。

部活動は麻酔学グルンドに所属しています。部活動に入ることで、大学内での先輩や同級生と交流の輪を広げることができるのはもちろん、麻酔学グルンドでは、ワークショップなどのイベントで他大学の人も仲良くなれます

大学近くには海があり、多くの自然に囲まれたとても良い環境で学習することができます。

大学に入学してまず学ぶのは、一般教育系科目。幅広い教養に裏打ちされた豊かで個人的な人間性を養い、歯科医学を学ぶために必要な知識を習得します。

第1学年から第2学年にかけて、医療人初期教育、人文・社会科学、自然科学、語学教育、情報科学の5項目を、効率よく編成された時間割にしたがって、週5日間にわたって学びます。

さらに、診療、研究で使用されるコンピュータ技術、ネットワークについての基礎的な理解をするためにコンピュータ実習も行われます。

第1学年はクラス別編成で少人数授業が行われ、学生間の交流も盛んです。

一般教育系教授

長田 敬五 初年次教育担当
[教育学修士・博士(水産学)]



自然現象の数学



実用医学英語



歯科医学入門演習 (LBP)

▶ 1年生から社会で活躍する歯科医師の先生方の話を聞き、プロフェSSIONナリズムについて議論することで歯科医師の社会的使命を認知し、職責を自覚します。



プロフェSSION



細胞の生物学

MESSAGE

サポーターからのメッセージ

どんな些細なことでも
サポートします!

第1学年サポーター
渡會 侑子 助教
Yuko WATARAI
新潟病院 総合診療科



大学へ入学すると、それまでの生活とは異なり、新たな環境での生活が始まります。楽しいこともあると思いますが、不安なことも出てくるかもしれません。そこで、私たちサポーターは第1学年から第2学年までの2年間、学習面・生活面でのサポートを行っています。朝はきちんと起きて講義へ出席できているか、食事はしっかりとれているかなどの大学生活の基本となる面から、講義や実習にはついていけているか、友人関係、部活動、先輩とのコミュニケーションが上手にとれているかなどまで、面談やメールを通じて確認させていただき、アドバイスをしています。

第1学年は6年間の歯学部学生生活における大事な基盤となる学年ですし、6年間の生活習慣を身につけ、学習習慣を習得する大事な学年でもあります。サポーターとして、勉強・生活面などで困ったときや悩んだときに、どんな些細なことでも親身にご話することができる身近な存在として、有意義な大学生活を送れるようにサポートしていきます。

サポーター制度……第1、第2学年の期間、6～8名の学生に対し、1名のサポーター(臨床系若手教員)を配し、就学中の勉強・生活両面のサポートを行っています。

歯科医療の基礎を

徹底して学ぶ

川名 葉子

Yoko KAWANA

新潟生命歯学部3年
[新潟県新潟市出身]



第2学年では、1年次で学んでいたような教養科目はほとんどなくなり専門的な科目が増えます。そのため、授業数や授業科目の増加などにより大変ではありますが、医療系の知識を一気に増やすことができ、歯学生である実感が湧いてきます。

後期には解剖学実習や理工学実習といった実習もあるので、実際に目で見ながら、また、触れながら学ぶことができ、それまでに学んだ知識の定着そし

て新たな発見や楽しみを見出しながら学習することができます。

実習は、勉強へのモチベーションも上がるので、学生にとってとても貴重な時間であると思います。そして、実習では多くの先生方にご指導いただくので、先生と話す時間が多くなります。先生方とさまざまな会話ができるようになると、より学校が楽しくなると思います。

歯科基礎系科目では、歯科医学の専門的知識をより深く追求します。授業は、講義と実習がセットになって行われ、実習では、教員の数もより多く、きめ細かな指導が特長です。これらを通じて、これからの歯科医療人としての見識と、幅広い知識と技術の習得を目標としています。

第1学年から第4学年にかけて、種々の科目を履修します。例えば、歯科理工学は、歯科における材料ならびに器械・器具についての基礎科学と応用科学を学びます。口腔解剖学は、解剖学とは別に、頭頸部の骨、顎の関節、筋、脈管、神経、内臓、歯と歯周組織、咽頭および喉頭などを集中的に学びます。歯科症候学演習は、歯科医学と社会の急速な進歩とニーズに対応するために、総合・実践的知識、自己・生涯学習の習慣、問題発見・解決能力、コミュニケーション技能・態度を身につけます。

歯科基礎系教授

影山 幾男	解剖学1 [博士(医学)]
笹川 一郎	解剖学1 [歯学博士]
石山 巳喜夫	解剖学2 [歯学博士]
佐藤 義英	生理学 [博士(歯学)]
森田 貴雄	生化学 [博士(医学)]
岡田 康男	病理学 [博士(歯学)]
葛城 啓彰	微生物学 [歯学博士]
仲村健二郎	薬理学 [歯学博士]
小松崎 明	衛生学 [博士(歯学)]
大熊 一夫	歯科理工学 [歯学博士]



歯科理工学実習



歯科症候学演習 (TBL)



口腔解剖学実習



▶▼ファンダメンタルスキル実習はⅠ(コミュニケーションスキル)とⅡ(ハンドスキル)があり、歯科の基礎となる実習を第1学年から行っています。



ファンダメンタルスキル実習Ⅰ



ファンダメンタルスキル実習Ⅱ

MESSAGE

サポーターからのメッセージ

より良い学生生活を送るために

第2学年サポーター
湊 華絵 助教
Hanae MINATO
新潟生命歯学部
歯科保存学第1講座



第2学年では第1学年よりも教科数が多く増え、医学・歯学の専門的な科目の学習が始まります。第1学年で得た基礎的な知識を土台に、より深い知識を理解し、習得することが求められます。第1学年の復習もしたいところですが、午前中に座学、午後には実習、放課後は部活となると自習する時間は限られてきます。他に試験、レポート提出、部活の大会などもあるため、自己管理できることが大切です。

私たちサポーターは第1・2学年を通して学生の生活面、勉強面のアドバイスをしています。第1学年から担当学生と接することで個性を把握し、個々に応じた生活習慣や勉強法を身につけると、第2学年で自己管理が正しく行うことができ、自由時間が増えます。

充実した毎日を通し、より良い学生生活を送れるよう精一杯サポートをしたいと思います。



技術を習得して

着実に歯科医師への道を歩む

佐久間 慎

Shin SAKUMA

新潟生命歯学部5年
[新潟県村上市出身]



第4学年では、3年次までと比べて実習時間が多く、1年間のカリキュラムの約半分を占めます。実習を行うことで、座学で学んだことをさらに深く理解することができます。また、臨床系の科目が増え、実習も増えることによって、歯科医師を目指すという目的意識とその使命をより一層意識するようになります。

また4年次の後半には、4年間で学んだことの集

大成として、CBTやOSCEといった共用試験があり、5年生での病院実習に臨むために知識と技能をさらに身につけなければなりません。とても大変ですが臨床を学ぶにつれモチベーションが上がり、やりがいを感じます。

また4年生では部活動において現役として最後の1年となります。勉強や部活で忙しい日々ですが、大変充実した大学生活を送ることができます。

臨床系科目は、一般教育系科目と歯科基礎系科目で習得した知識と技術をもとに、臨床に即した知識と技術を習得し、豊かな人間性を持った歯科医師を養成することを目指しています。

臨床基礎実習は、最新設備をそなえたマルチメディア臨床基礎実習室で行われます。すべての学生の能力を最大限に引き出すため、学生8名に対して教員1名という、きめ細かい指導体制が整っています。

医科病院には、内科、外科、耳鼻咽喉科があり、口腔のみにとどまるのではなく、全身を総合的にとらえて治療しなければならない、という日本歯科大学の基本的な考え方がここにも表れており、医科を学び次のステップの病院実習へと進みます。

歯科臨床系教授

新海 航一	歯科保存学2 [歯学博士]
佐藤 聡	歯周病学 [歯学博士]
小出 馨	歯科補綴学1 [歯学博士]
渡邊 文彦	歯科補綴学2 [歯学博士]
田中 彰	口腔外科学 [博士(歯学)]
藤井 一維	歯科麻酔学 [博士(歯学)]
遠藤 敏哉	歯科矯正学 [歯学博士]
小椋 一朗	歯科放射線学 [博士(歯学)]



部分床義歯補綴学実習



歯冠補綴架工義歯学実習



歯科医のための内科学

早期臨床実習 I



▲臨床系科目の中には早期臨床実習 I があり、第1学年から新潟病院・医科病院で実際の医療の場を見学します。



MESSAGE

教務部長からのメッセージ

時代に対応できる 人材を養成

中原 賢 教授
Ken NAKAHARA
新潟生命歯学部
教務部長



歯科医師になるための6年間には、学ばなくてはならないことが多くあります。大きく分けると、知識、技能、態度の3つになります。知識、技能に関しては、講義や実習でその大半を身につけていくことができます。しかしながら、態度の修得は非常に難しく、中でもコミュニケーションスキルが、歯学部卒業時の能力として最も不足していると言われていています。本学では、卒業後を見据え、そのスキルアップに力を入れて教育を行っています。

これからは、さまざまな職種との医療連携が必要となってくる時代です。コミュニケーションスキルが、今以上に重要視されるようになるでしょう。このように、時代に対応でき、意思の伝達や自己表現ができる人材が求められています。社会のニーズに合う医療人、また社会に貢献できる歯科医師を育成するため、私たちは日々、学生指導に努めています。



教師の熱い思いを受けとめて

夢の実現を目指す

山口 みづき

Mizuki YAMAGUCHI

新潟生命歯学部6年
[群馬県高崎市出身]



第5学年になると大学病院での病院実習が始まります。今まで講義や実習で学んだことを臨床で再確認し、より理解を深めることができます。病院実習では歯科の領域だけでなく、内科や耳鼻科といった医科病院での実習もあり、歯と全身の健康の深い関わりを改めて学ぶことができます。訪問歯科診療にも参加でき、チーム医療の大切さも学べます。

実際に患者さんの診療を行うのはとても緊張しま

すが、先生方や周りのスタッフの方々に助けていただき、患者さんと接するやりがいを感じることができました。

病院実習で日々医療現場の空気感に触れ同期と切磋琢磨していく中で、自分が卒業後どんな歯科医師になりたいか、またそのためには何をしたらいいのか、具体的な将来を考えることができる貴重な1年間でした。

5学年に進級すると、実際の病院で臨床実習がはじまります。歯科医師への道も、いよいよ見えてきます。

新潟病院では、総合診療科、口腔外科、小児歯科、矯正歯科、歯科麻酔・全身管理科、放射線科、訪問歯科口腔ケア科、口腔インプラント科があり、ローテーション方式でそれぞれの科で、実際の検査や治療を通じて、患者の立場に立った医療人としての知識・態度、そしてそれに応じた技能を習得させるよう努め、臨床実習の効果をあげています。

医科病院では、診療科として内科、外科、耳鼻咽喉科があり、口腔と全身とのかわりを意識した実習をとおして、総合的で実効的な実習として教育効果をあげています。これも、本学ならではの大きな特色です。

医科臨床系教授	
大竹 雅広	外科学〔博士(医学)〕
五十嵐 文雄	耳鼻咽喉科学〔医学博士〕
大越 章吾	内科学〔医学博士〕
診療科教授	
宇野 清博	総合診療科〔歯学博士〕
江面 晃	総合診療科〔歯学博士〕
山口 晃	口腔外科〔歯学博士〕
河野 正己	口腔外科〔歯学博士〕
寺田 員人	矯正歯科〔歯学博士〕
廣安 一彦	口腔インプラント科〔博士(歯学)〕
在宅ケア新潟クリニック教授	
黒川 裕臣	〔歯学博士〕



総合診療科での実習



外科手術見学



口腔外科手術見学



新潟・東京両生命歯学部で交換実習

新潟、東京の両生命歯学部の臨床実習生(第5学年)を、それぞれの病院の特徴的な診療科へ派遣し、実習を行う交換実習があります。新潟病院では、訪問歯科口腔ケア科を中心に実習が行われ、東京では小金井市にある口腔リハビリテーション多摩クリニックにおいて、外来の嚥下造影検査や構音機能訓練などを見学します。

口腔リハビリテーション多摩クリニックは東京都小金井市にある、赤ちゃんからお年寄りまですべての年代の摂食嚥下障害、言語障害のある患者さんを対象とした、日本で唯一の口腔リハビリテーションに特化した歯科診療施設です。

新潟と東京両学部の親交も深まり、参加した学生のあいだでは大変好評な実習となっています。



口腔リハビリテーション多摩クリニック



多摩クリニックで診察室の見学をする新潟の学生

MESSAGE

学生部長からのメッセージ

手厚い学生支援が あなたをサポート

小松崎 明 教授
Akira KOMATSUZAKI
新潟生命歯学部
学生部長



本学の長い歴史の中で、互いに切磋琢磨し、新時代を切り開こうとする学生気質は磨かれてきました。長寿社会を迎え、次世代に求められる幅広いスキルを身につけ、歯科医師としての使命を果たせるように、学生諸君には勇気と自信を持って未来へと船出してほしいと思います。

歯科医師となるまでの道のりは、楽なものではありませんが、クラブ活動や実習等を通し、強い絆で結ばれた同級生や先輩・後輩は、あなたの応援者として一生の宝となることでしょう。また、多数の姉妹校との国際交流から、外国の友人を作り視野を世界に広げることも可能です。学生部では、学習の障害となる要因を可及的に除去し、精神面を含めた重層的な学生支援を実施しています。

「人」を育む教育に必要な環境の整備に、本学は努力を惜しみません。学生の個性を尊重し、その力を最大限に引き出す本学で、あなたの夢を実現してみませんか。



全身麻酔による口腔外科手術

医療連携を推進し、地域歯科医療に貢献する

新潟病院は、歯・顎・口腔の総合医療施設として、総合診療科、口腔外科、歯科麻酔・全身管理科、矯正歯科、小児歯科、放射線科、訪問歯科口腔ケア科、口腔インプラント科があり、入院治療のための病床42床をはじめ、全身麻酔可能な中央手術室、CT、CBCT、MRI、RI、Linac放射線治療装置などの高度高額医療施設を設備しています。

さらに診療センターとして障害児・者、睡眠歯科、口腔ケア機能管理を有し、特殊外来として白い歯、特殊歯周病治療、スポーツ歯科、いき息さわやか、あごの関節・歯ぎしり、口のかわき治療、歯科アレルギー治療、歯科鎮静リラックス、顎のかたち・咬み合わせ、歯の細胞バンク、MRONJ外来があり、多様化する高度専門歯科医療に対応しています。また、地域歯科診療支援病院として、歯科の三次医療機能に加え、地域の医療機関や福祉施設との連携を強化し、積極的に地域の多職種連携医療、在宅歯科医療を推進しています。



総合診療科



小児歯科



インプラント手術

MESSAGE

病院長からのメッセージ

将来の歯科医師人生を 占う病院実習



山口 晃 教授
Akira YAMAGUCHI
新潟病院病院長
口腔外科

第5学年次の4月から、新潟病院における臨床実習が始まります。

この実習は、それまでの模型を用いたシミュレーションと異なり、実際に患者さんの診療に参加して実体験する実習です。そのためには、第4学年末にある全国統一の共用試験をクリアし、患者診療を行うことができる知識、技能、そして態度を備えていることが最低条件です。臨床実習で患者さんから学ぶべきことは、限りなく多く、そして深いものがあります。

しかし、一方で、それは学ぶ側の心持ち1つで大

きく変わります。常に、患者さんの苦しみや訴えに耳を傾け、最善の治療ができるように勉強し、技術を磨く。そうした準備の下での実習と、ただそこにいるだけの実習では雲泥の差があります。まさに、実習の成果は自分自身にかかっています。そして、それは実際に歯科医師になった後の諸君の人生を予言しているのです。

医療にこれでいいというゴールはありません。生涯勉強、生涯研修の歯科医師人生のスタートラインに立つための、とても大変ですがとても魅力的な実習が病院実習です。

医科病院



医科病院手術室

生命歯学の実践

医科病院は昭和55年、日本歯科大学新潟歯学部の歯科医師教育機関として開設され、診療科は、内科、外科、耳鼻咽喉科があり、入院治療のための病床50床が設置されています。MRI、CTなどの診断装置を駆使し、内科、外科では肝、胆、膵疾患ならびに消化器系を中心とした、また耳鼻咽喉科では高度難聴の施設基準を満たし、高度な医療を提供しています。日本歯科大学新潟生命歯学部では、歯科医学と医学の融合を図るため、一般医学の講義に加え、医科病院における医科研修を行っており、ほかの歯科大学には見られない大きな特色となっています。



耳鼻咽喉科診療



内科回診

歯科医師としての幅が 広がる実習

田代 夏乃

Natsuno TASHIRO

新潟生命歯学部6年
[新潟県新潟市出身]



新潟生命歯学部には、歯科に関する新潟病院のほかに、内科や外科、耳鼻咽喉科の診療科がある医科病院が併設されていて、5年生の臨床実習では歯科に関する実習のほか医科病院でも実習や見学を行います。

医科病院では、内科での内視鏡検査の見学や、外科や耳鼻咽喉科での手術の見学、検査科での血液検査や薬剤科での薬剤管理など、お口の中だけではなく、全身に関する管理や診療について実地で学ぶことができます。

現在の歯科医療では、超高齢社会に対応するため全身状態を把握したうえで、治療方針を考えることが必要となります。目先の治療だけでなく、長い目で見て患者さんにとって一番良い治療を提供するには、患者さんの全身に気を配った診療が必要になりますので、医科病院での実習が歯科医師としての幅をより広げてくれる貴重な機会になったと思います。

MESSAGE

病院長からのメッセージ

全身を学ぶ



大越 章吾 教授
Shogo OKOSHI
医科病院病院長
内科学講座

新潟生命歯学部は本格的な医科病院を併設する、全国的に見ても非常に貴重な歯科大学です。近年、歯周病と糖尿病や認知症、嚥下及び摂食の全身管理における重要性の認識に代表されるように、歯科医学を全身疾患の一部として捉える考え方が浸透してきており、その意味で以前から医科病院が存在することは、日本歯科大学の先見の明を示しています。

医科病院は内科、外科、耳鼻科からなり、50床の入院病床があります。5年生のカリキュラムには医科病院の臨床実習が組み込まれており、各科で診

療の実験を経験することができます。内科では内視鏡などの検査の見学、外科、耳鼻咽喉科では手術の見学を通して実地医学を学ぶことができます。歯科医学の修得の中で全身疾患の理解は必須のものであり、医科病院との関わりを通じて常にUp-to-dateに学ぶことが可能です。

高齢化社会を迎え、多くの合併症を有する患者さんの歯科治療を行う機会が増えています。医科病院での臨床実習は、全身状態を考慮に入れて、安全で的確な治療を行うことができる歯科医師としての基礎を学ぶ絶好の場といえます。



学生も先生の指導のもと患者さんの口腔ケアを行う



出発前の打ち合わせ



往診器具を積み込み、大学を出発



診察後カルテを整理

求められる地域に密着した在宅歯科医療

現在、わが国では、急速に少子高齢化が進行しており、国民の医療や介護の需要がますます増加することが見込まれて社会問題になっています。

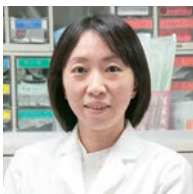
そこで、国の施策として、高齢者が要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供され

る「地域包括ケアシステム」の構築が急がれています。

これに応じて歯科界でも、地域ぐるみで要介護者のための在宅歯科医療の充実と、医療・介護との連携強化が求められています。そのため、地域で働く歯科医師にとって、訪問歯科診療と訪問口腔ケアの知識と技術の習得は必須のものになっていくでしょう。

MESSAGE

超高齢社会に対応できる 歯科医師に



白野 美和 准教授
Miwa SHIRONO
新潟病院訪問歯科
口腔ケア科科长

新潟病院在宅歯科往診ケアチームは、平成26年4月からは診療科に移行し、本邦初となる訪問歯科診療専門の診療科『訪問歯科口腔ケア科』となり、4名の専従歯科医師と専任歯科衛生士4名、専任看護師1名を中心に総合診療科、口腔外科、歯科麻酔・全身管理科の担当歯科医師を加え訪問歯科診療を行っています。

在宅医療の中で歯科医療の供給は不足していると言われており、これからの歯科医師は在宅歯科医療に必要な知識・態度・技能の習得が必要とされてい

ます。

訪問歯科診療の場において歯科医師は全身的な医学知識や介護に関する知識を持ち、他職種と連携をとることが必要であり、歯科治療のみならず誤嚥性肺炎の予防や摂食・嚥下リハビリテーションなど多方面の管理を要求されるようになってきました。

平成22年度に全国に先駆けて歯学部5年臨床実習生の訪問歯科診療実習と臨床研修歯科医の訪問歯科診療研修を必修化し、在宅歯科医療を学ぶ絶好の環境を提供しています。

「地域」と「連携」をキーワードに

新潟病院では、昭和62年9月に在宅歯科往診ケアチームを全国歯科大学に先駆けて設置しました。その後30年以上にわたり、地域の要介護高齢者や障害者の訪問歯科診療や口腔ケアに従事し、多くの社会福祉施設において無料歯科検診を行うなど、地域歯科保健医療に寄与してきました。

そして、この長年にわたる経験は、平成16年の新潟県中越地震、同19年の中越沖地震、さらに平成23年の東日本大震災などの大規模災害時に、被災地へ赴き、被災者への応急歯科診療と口腔ケアを行うなど多方面に役立っています。こ

のような種々の活動は、第60回新潟日報文化賞や第63回保健文化賞を受賞するなど、高く評価されています。

チームは、平成26年4月から訪問歯科口腔ケア科として、専従歯科医師4名、専任歯科衛生士4名、専任看護師1名を中心に診療体制を強化しました。地域歯科医療支援室と連動して、地域の医療や介護分野など他職種や歯科医師会と連携を強め、地域における在宅歯科医療の後方支援を担いながら、医療・介護と歯科医療を繋ぐ役割を果たすことが期待されています。



患者さんの自宅での診療



中越地震避難所での診療

他職種と連携できる歯科医師を養成

現在、他職種と連携し、口腔と全身を診ることができる歯科医師の育成が求められています。歯科医師も全身の健康を支える医療チームの一員として、在宅医療や介護をはじめさまざまな職種に関わり、共に支えていく新時代に突入しているのです。

そこで新潟病院では、第5学年次の臨床実習において訪問歯科診療を必修化し、臨床実習生が、実際に医療、介護従事者が集まり在宅療養患者のために開催される退院時カンファレンスに参加するなど、地域医療の現場で、連携の重要性を学んでいます。



東日本大震災避難所での診療

チーム医療の大切さを実感

吉成 佑花梨

Yukari YOSHINARI

新潟生命歯学部 6年
[福島県白河市出身]



老年人口割合の増加に伴い、高齢の患者さんを治療する機会も増えていきます。その中には介護を必要とする患者さんや、通院の難しい全身疾患をもった患者さんも増えているため、訪問歯科治療への需要が高まることとなります。

訪問歯科口腔ケア科では実際に介護施設や患者さんのご自宅へ行き、訪問歯科治療に参加することができます。病院での治療とは異なり、誤嚥性肺炎の予防として口腔ケアを行うことや、摂食・嚥下のリハビリテーションを行うことなど、一般的な歯科治療とは少し違った診療を体験することができました。

また、訪問歯科ではさまざまな職種の人と連携してチーム医療を行います。高齢の患者さんが増えている今、歯科治療を行うだけでなく、患者さん一人ひとりにあった全身管理ができるように知識を身につけることや、チーム医療の大切さを感じました。

認知症を地域で支えるために

認知症カフェ N-Cafe Angle

2018年12月、国内唯一の歯科大学併設認知症カフェ N-Cafe Angleを、キャンパス内にオープンしました。認知症カフェは、認知症を地域で支える取り組みの一環として、認知症の人やそのご家族の方、地域の方々が、お茶やコーヒーを飲みながら気軽に交流や相談ごと、悩みごとなどの情報交換が

行える場所です。

N-Cafe Angleでは2018年12月のオープン以来、毎月1回、定期的で開催しています。

歯科大学ならではの、お口に関する情報もお届けしながら、本学学生が中心となり、歯科医師、看護師、管理栄養士などが参加しています。



みなさんが目標とする歯科医師。その歯科医師の仕事は多岐にわたっています。ここでは、卒業してまだ間もない若手の歯科医師の先生に、大学時代の思い出から、現在のお仕事のお話を伺いました。未来の歯科医療を担うみなさんの参考にしてみてはいかがでしょうか？

理想の歯科医師像を 確立するために

両 親共に歯科医師の家庭で育ち、その背中を見て自然と「自分も将来歯科医師になるんだろうな」と思っており、両親の母校である日本歯科大学新潟生命歯学部に入學しました。

在学中は勉強面でかなり苦労はしましたが、本学はITセンターやセミナー室など、遅くまで開放している勉強スペースがあるため、勉強するには適した環境だったと思います。わからないことがあるとすぐに周りの先生や友達に聞けるのが非常に素晴らしい環境でした。

部活動は軽音楽部に所属しており、人前で喋ることが苦手な私がライブでステージの上に立って人前で歌ったことが思い出です。また、大学時代一緒に勉強したり遊んだり苦楽を共にした友人とは、今でも連絡を取り合い仲良くしています。当時は大学の近くに住んでいる学生が多かったので、初めての一人暮らしに寂しさを感じたことはほとんどありませんでした。6年制の大学でなければこんなに関係の深い友達はできなかったのではないかと思います。

大学卒業後は、学生気分を一掃し新たな環境で研修をしたいという思いから、新潟大学で1年間研修をしました。新潟

平成28年度
新潟生命歯学部卒業
村井 琴恵 先生
Kotoe Murai
東京都江戸川区
こばやし歯科クリニック勤務

大学では総合診療科に所属し、春に担当された患者さんの治療計画を立案するとともに1年間通して実際に治療をしました。研修後は上京して東京の開業医で働くことを決めていました。その理由としては、審美歯科・美容歯科に興味があり、東京の開業医であればさまざまな症例に触れることができ、さらには勉強会に参加してより多くの知識を身に付けるのに適していると思ったからです。

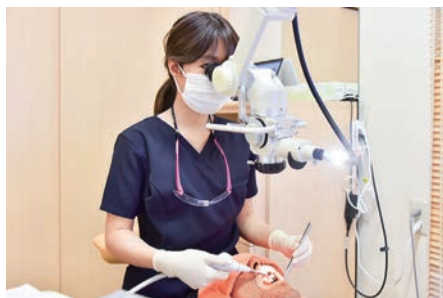
こばやし歯科クリニックの存在は、就職セミナーで知りました。さまざまな専門医の先生や多職種のスタッフがいることや、マイクロスコープが16台のユニット全てに完備してあり自由に使用できることなどから、見学に行った日にすぐに「ここで働きたい」と決めました。

学生時代の話に戻りますが、私は5年時の病院実習の際にマイクロスコープを使用した菅原先生の診療を何度も見学させていただき、マイクロスコープの実用

性の高さを感じていました。自分も卒業したらマイクロスコープを使用した診療をできるようになりたいとその時に強く思いました。こばやし歯科クリニックでは、治療時に必ずマイクロスコープを使用するので、学生時代からのやりたかった診療が実現できました。

今はなるべくどんな分野も好き嫌いせず学ぼうと思い、それまであまり臨床で経験する機会がなかった訪問歯科、小児歯科も行なっています。興味があった審美歯科では、充実したCAD/CAMシステムの設備があるのでセラミック修復に力を入れています。

仕事を通じて、座学だけではわからないことがたくさんあり、臨床を経験してから苦手意識がなくなることもあると思いました。卒業5年目以降の先生達は、自分の治療の考え方や専門が確立している人が多いので私も早くそうなれるように頑張りたいです。



マイクロスコープを使用した診療



洗練されたデザインの診療所



5年次の病院実習にて（本人、中央）

A VIEW TO THE FUTURE

歯科医学は日進月歩。近年の歯科医学は目覚ましい発展を続けています。そんな発展の一翼を担っている、
歯科界のフロントランナーとして未来へ歩み続ける本学の最新のトピックスをご紹介します。



訪問歯科診療は新たなステージへ また一つ、全国初が誕生しました

今から約30年前、「歯医者への訪問診療」などと誰も考えもしなかった時代から、本学は在宅往診ケアチーム（現在の訪問歯科口腔ケア科）による訪問歯科診療を行ってきました。全国にある29の歯科大学・歯学部としては、はじめての試みでした。

そして昨年の4月、新潟県三条市に外来患者を受けない訪問診療専門のクリニック、日本歯科大学在宅ケア新潟クリニックを開業しました。これもまた、全国でははじめての試みです。

このクリニックは、いわゆる、歯科治療用椅子

のない、事務所・ミーティングルーム、滅菌消毒設備のみを備える歯科診療所です。外来の患者さんを診療する設備はありません。これからの更なる高齢者人口増加と寝たきり老人増加を見通すと、近い将来、このような新しい形態の開業スタイルが必要になると考えます。

本学は、世界でも類を見ない超高齢社会の中で、訪問歯科医療や口腔ケアの施行、医師・看護師・薬剤師・介護関係者等との多職種連携が必須である地域包括ケアシステムに対応できる次世代の歯科医師の育成に真剣に取り組んでいます。



新潟病院「MRONJ外来」開設

2003年に初めて医薬品「ビスホスホネート」の使用による副作用に関連する顎骨壊死（BRONJ）が発表されました。未だに発症に至るメカニズムに関するエビデンスは乏しく治療ガイドラインは日々更新されています。

2014年には、米国口腔顎顔面外科学会が改訂した方針書において、血管新生阻害薬によって発症した顎骨壊死の報告も包含され、薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）と病名が変更されました。

日本口腔外科学会が行った患者の全国実態調査

では、2006年からの3年間と2011年からの3年間では約18倍と増加しており、今後も増加することが予想されています。

そこで、2017年7月1日より専門外来として新潟病院にMRONJ外来を開業しました。この外来では、それぞれの患者さんの状態にあわせて最適な時期に外科的治療を早期から適応すること、外科的治療の際に薬剤の休薬をしないことを特徴としています。



新潟病院「歯の細胞バンク外来」開設

「歯の細胞バンク」は、患者福祉の一環として2015年4月に大学が主導する細胞バンクとしてはわが国初の施設として誕生しました。

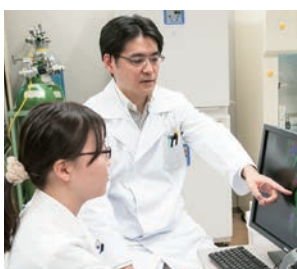
新潟病院では2017年9月1日に患者さん自身の細胞を患者さんへ供給する“バイオ再生医療”のベース基地の一つとして「歯の細胞バンク外来」を開業しました。

基本的には、生命歯学部設立された「歯の細胞

バンク」へバンク登録を希望する患者の抜去歯（細胞）を提供できる体制づくりを目的としています。そのため、「歯の細胞バンク外来」では、新潟病院内や周辺地域の開業歯科からのバンク登録を希望する患者の受け入れを行い、円滑に抜去歯（細胞）を本バンクへ発送します。また、困難抜歯が予想される場合や鎮静法下での抜歯を希望される方の受け入れなども行います。



● 歯の幹細胞で再生医療へ



中原 貴 教授
Taka NAKAHARA
日本歯科大学副学長
日本歯科大学
生命歯学研究科
発生・再生医学講座

むし歯を削ってモノを詰める、歯が抜けたらモノで補う。これらのモノ、すなわち歯科材料に支えられてきたのが、従来の歯科医療です。一方、“細胞”を活用した新たな医療、それが再生医療です。とくに“幹細胞”と呼ばれる魅力的な細胞は、失われた組織のカタチや働きを元通りに治せる再生医療には必須の細胞です。

私たち歯科医師は、治療の一環として乳歯や親知らずを抜くことが多くあります。最近では、これらの抜いた歯にも幹細胞の存在が明らかとなり、再生医療に応用できる可能性

が示されています。

本学の研究グループは、歯科医師に身近な歯の幹細胞を用いて、歯や口だけでなく、全身の病気を治す再生医療を目指しています。そして現在、歯の幹細胞の一つである“歯髄細胞”を将来の再生医療に活用するため、患者さんの歯髄細胞を凍結保存する「歯の細胞バンク」をスタートしました。

みなさんも本学の一員となり、歯の幹細胞で全身の病気を治す「生命歯学」を学び、歯科から発信する再生医療の息吹を感じてみませんか？

最新の設備を誇る教育環境



最新の臨床実習室で 日々多くの実習を行っています



平塚 美宥
Miu HIRATSUKA
新潟生命歯学部5年
[埼玉県朝霞市出身]

マルチメディア臨床基礎実習室では、歯科医師として必要不可欠なスキルを学ぶために多くの授業が行われています。

各自一台ずつ用意されている実習機には、歯科治療を行うための機材や患者さんに見立てたマネキンが設置されており、実際の診療現場に近い状態で実習を行うことができます。

また、実習機にはモニターがついており、ランプをつけると先生が来てくださるので、丁寧な指導のもと、実習を進めていくことができます。

さらに、実習室には歯科診療用のユニットも設置されているので、第5学年での臨床実習に向け相互実習やコミュニケーション実習も行われています。

この実習室を使用した実習は、普段の授業の理解がより深まるのでとてもいい経験になっています。



マルチメディア臨床基礎実習室

マルチメディア臨床基礎実習室

1号館2階には、最新のIT機器を設置した、今までに例を見ない最新のシステムをそなえた、多機能の「マルチメディア臨床基礎実習室」があります。この実習室では、Windows PCを搭載した実習机120台と治療用歯科ユニット12台、フットペダル式水洗ユニット12台、IT示説室をそなえています。

ITセンター

ITセンターはキャンパス内の2号館2階にあり、IT教室1には情報科学の実習に使用されるWindows PC56台、IT教室2には学生が自由に使用できるPC48台が常設してあります。特にIT教室2は、試験に関係した特別な期間を除いて、休日を含めて朝7時から夜11時まで使用可能で、指静脈登録を行った学生が自由に入室してコンピュータを使用することができます。

IT教室1、2は、パーテーションを一時

技作業コーナーも充実しており、石膏操作、鑄造、流鑄^{りゅうろう}作業、X線デジタル撮影もでき、実習時間外には学生技工コーナーで課題を行っています。

実習机には最新式歯科治療機器と口腔内カメラ、乾湿サククション装置、マネキンが装備されており、技作業と臨床手技シミュレーション作業が実施できます。

撤去することで104台のPCを同時使用できる環境にあり、コンピュータ試験なども実施しています。

本学ではe-Learningにも力を注ぎ、CAIシステム*による国家試験問題も学生に好評です。

*CAIシステムは、サーバーに過去の歯科医師国家試験問題約6400問が記録されています。各問題の正答、選択肢解説が収録され、学生が問題を選んで学習したり、コンピュータが任意で選んだ問題で試験を受けるなどの機能を持つすぐれた自己学習ソフトです。



IT教室1と2の間のパーテーションを一時撤去することで、1学年全員がパソコンを使用した授業を行えます



指静脈登録によりITセンターに入室します

スマートフォンによる双方向対話型授業

スマートフォンによる学生支援システムを出欠管理、情報配信、さらにソクラテス型(双方向対話型)授業に利用しています。出欠は授業の前後に、専用アプリから各自がタップすることで管理しています。

ソクラテス型授業は、講義中に提示した多肢選択問題の解答作業をスマートフォンで行い、教員がその解答状況をリアルタイムに知ることができます。さらに、掲示板、学生の呼び出しにも活用されています。



スマートフォンを使用した授業出席登録

ソクラテス型授業



解答結果はリアルタイムでデータベースに採取・採点・集計され、その結果は教員の手元のパソコンに表示されます。学生の理解度に応じた授業を、効果的に行っています。



国際交流



ブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)のキャンパスにて



ワシントン大学(UW)のキャンパスにて

ブリティッシュ・コロンビア大学との連携

交換学生制度は1986年に始まり、30回目を数えます。本学の学生が姉妹校のカナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)と米国・ワシントン大学(UW)を訪問し、研修と親睦を図る本学独自の教育システムです。

相互訪問は毎年、本学の学生は3月に、UBCの学生は7月に行われます。



UBCの近くにあるウィスラーは北米最大級のスキーリゾート



交換学生30周年記念の盾をUBC歯学部長に贈呈



新潟名物の笹団子作りを体験



新潟生命歯学部での歓迎パーティ



新潟でのフェアウェルパーティ

UBC・UW交換留学生

短期留学を経て 見たもの感じたこと



二宮 あや
Aya NINOMIYA
平成30年度
新潟生命歯学部卒業
[鹿児島県鹿児島市出身]

5年生の3月にアメリカとカナダに短期留学しました。本学を受験した理由もこの短期留学に行きたかったこともありましたが、実現したことが嬉しくてたまりませんでした。姉妹校であるシアトルのワシントン大学(UW)とバンクーバーのブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)の2カ国の歯学部で病院見学をし、向こうの学生と毎日さまざまなアクティビティを体験しました。

UWでは大学院生が顎に骨をつくる手術をしていたのを間近で見学しました。指導の先生がついているとはいえ堂々と手術を行っていたのが印象に残っています。

UBCでは、学生の家にホームステイをさせてもらい毎日一緒に過ごしました。UBCまで一緒に登校して、学生の臨床実習を見学しました。私達の臨床実習と比べると病院に出ている期間も長く、よりプロフェッショナルで学業が少ないなど違いが分かりました。またUBCの学生は歯科医師

になるための意識が高く、刺激をもらいました。

帰国してからも連絡を取り合うくらい仲のいい友達ができただけでなく、この留学で一番の財産になったと思います。もし海外の歯学部や文化に少しでも興味がある方は、このプログラムに参加してさまざまな経験をし、色んな考えがあることを自分の目で見て聞いてほしいと願っています。





マンチェスター大学(英国)での病院見学



ブリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)からの訪問学生



四川大學華西口腔医学院(中国)にて



中山医学大学(台湾)からの訪問学生



中山医学大学(台湾)にて

国際色豊かな広い視野を育てます

高度情報化社会の現代では、グローバルな国際的交流の重要性の認識が改めて必要となります。

本学では、こうした国際化にともなうコミュニケーションを推進するため、インターネットなどのインフラはもとより、直接海外の研究者との交流を積極的に進めています。

特に、若手の教員・研究者を対象として、研究者同志のつながりや融和を大切に国際学術交流の一助として、国際学会への出席や留学といった面で支援しています。また、タイのマヒドン大学の訪問学生や、台湾の中山医学大学、中国の四川大學華西口腔医学院などとの学生相互訪問なども活発に行われています。

マンチェスター大学交換留学生

忘れることのない 貴重な体験



小出 耀
Hikaru KOIDE
新潟生命歯学部6年
[新潟県新潟市出身]

昨年7月にマンチェスター大学へ2週間交換留学をさせていただきました。

マンチェスター大学と本学は長年姉妹校として交流はありましたが、本学から交換留学するのは私と東京校の高橋彩香さんが最初であったことは、とても光栄なことだと思っています。

留学中の生活は、毎日が新しい発見と素敵な出会いにあふれていました。

マンチェスター大学の病院や研究施設などを見学したり、会議室のような部屋でいろいろな専門教科の講義を受講しました。放課後はいつも学生が夕食に誘ってくれて楽しく会話しながら食事をしました。休日はロンドンやリバプールを観光し、イギリスの歴史と文化にあふれた街を堪能す

ることができました。

交換留学で学んだ多くのことは、将来歯科医師になっても忘れることのない貴重な体験だと確信しています。外国の医療に興味のある人にはぜひ交換留学をおすすめしたいと思います。



未来の歯科医療の

発展に寄与する



清水 公太
Kota SHIMIZU

新潟生命歯学研究科
硬組織機能治療学
[埼玉県川口市出身]



私が大学院への進学を考えたのは、5年次の臨床実習を行っている時でした。自分が歯科医師になった時に、一つ専門となるものがあれば強みになるのではないかと考えたからです。

私は硬組織機能治療学を専攻し、歯内治療学を学んでいます。歯内治療学は歯科保存学第1講座が担当しており、講座では通常の歯の根の治療はもちろん、破折した器具の除去、歯の再植などの保存治療、診療用顕微鏡を用いた治療など、専門性の高い治療を行っています。

また、大学院生は前述のような診療はもちろん、治療の基礎となる研究や学生への実習のお手伝いも行います。研究では最新の知見を発見したり、論文検索で新たな知識を得ることができ、学生実習では自分が持っている知識をわかりやすく教えられなければなりません。

このように、大学院ではさまざまな経験ができ、歯科医師として成長できる機会が得られると思います。ぜひ、みなさんも大学院で一緒に貴重な体験をしましょう。

新潟生命歯学研究科では、歯科医学に関する学術の理論とその応用について教授し、歯科医学の発展に寄与できる研究者としての高度な専門的知識を習得するとともに、自立して研究活動を行い、研究機関のみならず地域医療、産業界など社会の多方面においても専門業務に従事できる幅広い研究能力を養うことを目的としています。

専攻主科目は基礎科学系(顎口腔形態学、顎口腔機能学、顎口腔感染環境保健学)、応用科学系(顎口腔材料咬合学、顎口腔病態診断学、顎口腔生体反応学)、臨床科学系(硬組織歯周治療学、顎口腔成長発達学、顎口腔全身病学)の3つから構成され、従来の既成概念にとらわれない特色ある研究指導体制がとられています。



口腔環境保健学ゼミ



全身関連臨床検査学ゼミ



機能性咬合治療学ゼミ

基礎科学系	顎口腔形態学	硬組織粘膜炎比較形態学 形態分析化学
	顎口腔機能学	咀嚼分泌神経学 唾液唾液腺機能学
	顎口腔感染環境保健学	口腔感染免疫学 口腔環境保健学
応用科学系	顎口腔材料咬合学	口腔材料開発工学 機能性咬合治療学
	顎口腔病態診断学	放射線定量診断学 病態組織機構学
	顎口腔生体反応学	硬組織唾液腺薬物反応学 口腔全身機能管理学
臨床科学系	硬組織歯周治療学	硬組織機能治療学 歯周機能治療学
	顎口腔成長発達学	小児口腔行動科学 咬合形態機能矯正学
	顎口腔全身病学	顎口腔全身関連治療学 全身関連臨床検査学

MESSAGE

根拠に基づいた 診療のできる歯科医師に



大滝 梨菜
Rina OTAKI

新潟生命歯学研究科
機能性咬合治療学
[新潟県見附市出身]

どんな歯科医師になりたいか誰もが一度は考えると思います。私が大学院への進学を考え始めたのは臨床研修歯科医の時です。実際に担当患者さんを持ち、自分で診査・診断・治療した時、私は知識を臨床に活かせず苦戦しました。その治療方法を選択する根拠は何だろう、別の治療方法も可能ではないのか、いつも疑問を拭えないまま診療をしていました。このような疑問を解決するため、歯科医師として自信をつけるため大学院への進学を決意しました。

現在、私は特に興味を持っていた機能性咬合治療学(歯科補綴架工義歯学)を専攻しています。本講座ではクラウン、ブリッジそしてインプラントの基礎・臨床研究を行い、臨床に貢献できるよう努めています。また研究成果を出し、診療で臨床経験を積み、専門医・学位の取得を目指しています。

教授をはじめ、諸先生方の熱心な指導とサポートのもと、研究、臨床ともに大変充実した大学院生活を送っています。

皆さんも大学院で自信をつけて、根拠に基づいた診療のできる歯科医師を目指してみませんか？

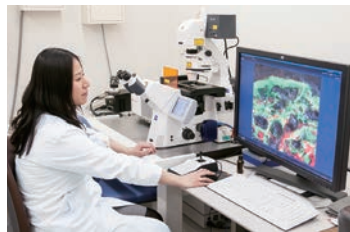
世界に発信する学術研究



X線光電子分光装置



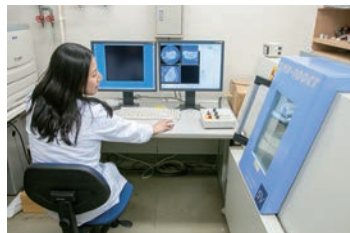
電子プローブ・マイクロアナライザー



共焦点レーザー走査顕微鏡



リアルタイムPCR



マイクロフォーカスX線CT



ナノドロップ

先端研究センター教授

笹川一郎 [歯学博士]

中原 賢 [博士(歯学)]

先端研究センター

先端研究センターは新潟生命歯学部キャンパスの6号館にあります。研究プロジェクトは主に軟組織疾患を対象とした「口腔疾患の診断と治療における分子生物学的アプローチ」と、硬組織を対象とした「口腔内生体材料における高機能素材の開発とその臨床応用」という2つから構成されています。

研究チームは5～6つのワークグループから構成され、それぞれにコーディネーターがつき、54名の研究者がそのコーディネーターのもとで研究を分担しています。

いずれの研究も、先端的な業績をあげている他大学や民間機関、民間企業とも連携し、多方面の技術協力や共同研究によって進められています。



学術誌 | Odontology



日本歯科大学歯学会発行の「Odontology」は、国際的な研究成果発表を目標として、「歯学」を継承し2001年に創刊された英文誌で、2017年から年4号発刊され、各方面から注目を集めています。2003年にはアメリカ国立医学図書館のデータベースMedlineに収録され、国際学術雑誌として認知されました。その後、世界で最も権威のある学術文献データベースWeb of Scienceに収録され、2009年6月には初めてインパクトファクター(IF)*が付与されました。さらに、2012年6月には5-Year IFも付与されました。

歯科医学・口腔外科学分野で2015年2月現在このIFを付与されている学術誌は、世界中で83誌、日本関係ではわずか3誌しかありません。その中で「Odontology」のIFは1.91(2016年)にランクされており、日本の歯科関係の学会が発行する歯科医学雑誌のなかで最高の評価を得ています。

*IF(インパクト・ファクター)とは ある学術誌に掲載された1論文が、一流の国際誌に平均どれくらい引用されたかを示す指標であり、国際誌の影響度を表す値として使われています。

MESSAGE

研究成果を世界へ発信



五十嵐 健輔 助教
Kensuke IGARASHI
新潟生命歯学部
生命歯科学講座

我々歯科医師が行っている歯科治療は、基礎研究の成果が土台となり成り立っています。基礎研究とは、治療を行う上で使用する材料や器具の安全性や強度が人体にとって十分であるか、そして、薬剤が生体にどのような影響を与えているかなどを実験を通じて明らかにすることです。

先端研究センターにはさまざまな研究機器がそろっており、歯科材料の元素分析や細胞培養を用いた分子レベルの研究、細菌の動態など幅広い基

礎研究を行うことが可能です。これらの基礎研究から得た結果を英語論文にまとめることで、国内のみならず、海外へ研究成果を発信することができます。世界的に基本となる治療の根拠を導き出しています。

基礎研究は、我々大学教員が行うべき重要な任務であると考えています。私も臨床に直結する研究を行っていることを自負し、やりがいをもって研究活動に取り組んでいます。

患者さんのために 最善を尽くすこと

歯学部を受験を決め、将来歯科の道に進むと決心した高校生時代の私自身、では、どんな歯科医になりたいのかと聞いてみたとしても、何となく漠然とした歯医者さんのイメージしか無かったような気がします。

私たちは1997年に新潟歯学部に入りました。学生時代は、夫である院長はウィンドサーフィン部で主将を務め、私はバドミントン部と学生会に所属し、それぞれの青春を謳歌しました。学生時代を通し、多くの先輩方や先生方のご指導を受けることで、歯科の道も多種多様であるということを知りました。そして、どの道を進んだとしても、我々歯科医に絶対的に必要なことがあるということも教えてもらいました。それは「患者さんのために最善を尽くすこと」です。患者さんに必要なことは何か、患者さんは何を望まれているのか、自分は患者さんのために何ができるのか、日常の臨床において、私たちは常に頭の中をフル回転させていなければなりません。そのために必要なコミュニ



ケーション能力や問題解決能力を6年間の学生生活の間にも、ある程度身につけられるよう意識して行ってほしいと思います。また、歯科医は生涯勉強が必要になります。日々の医療技術の進歩に遅れをとらないよう、常に情報をアップデートし、その知識や技術を患者さんのために活かす努力を忘れてはいけません。

歯科医はとても大変な仕事です。しかし、その分、喜びや充実感も大きいです。今は子育てと仕事の両立に毎日休む暇がありませんが、とても楽しい日々を送らせてもらっています。

安部 まゆ 先生

Mayu ABE

2003年日本歯科大学新潟歯学部卒業。
日本歯科大学新潟病院総合診療科勤務の後、京都市内開業医へ就職。結婚を機に静岡へ。

安部 貴之 先生

Takayuki ABE

2003年日本歯科大学新潟歯学部卒業。
日本歯科大学新潟病院総合診療科勤務の後、静岡市内開業医就職。2014年安部歯科医院開業。日本口腔インプラント学会専門医。

From Graduates

先輩からのメッセージ



今野 歩 先生

Ayumi KONNO

2008年日本歯科大学新潟生命歯学部卒業。
横浜市歯科保健医療センター障がい者歯科診療部門診療医。歯学博士。
2009年昭和大学歯学部全身管理歯科学講座歯科麻酔科学部門入局。
2016年同大学院歯学研究科修了。
2017年より現所属。
日本歯科麻酔学会認定医・専門医。

可能性は無量大!

私は大学進学を機に地元の千葉を離れて新潟にきました。初めて上越新幹線に乗った時の不安感を今でも覚えています。

学生時代には、辛い時、悲しい時、楽しい時、いつでもすぐに大学の近くに住む友人が集合し、たくさん笑って、助け合いました。このような青春を過ごせたのは新潟校だからこそだと感じています。

卒業後は、昭和大学歯科麻酔科での臨床研修をきっかけに歯科医療における全身管理の必要性や身体の生理的反応に面白さを感じ、歯科麻酔科学を習得しようと決意しました。同大学の大学院へ進学し基礎研究にも携わりました。臨床では医学部での医科麻酔研修で研鑽を積むと同時に、歯科医師としての自分の存在意義を強く考えるようになりました。

そして昨年、障がい者歯科へとフィールドを移し、新たな挑戦を始めたところです。障がい者歯科とは、知的、身体、精神的に障がいを持つ患者さんの口腔内を専門的に診る診療科です。受診している患者さんは、できること、気を付けること、すべてが大きく違い、一人ひとりオーダーメイドの対応が求められます。私が勤務するセンターでは年間約1万人の患者さんが受診し、必要に応じて全身麻酔下で歯科治療を行います。患者さんに安全で快適な質の高い歯科治療を提供できるよう日々奮闘しています。

最後に、皆さんは歯学を通じてさまざまな分野に挑戦することができます。可能性は無量大です。歯を削って治すことは大切な基本ですが、それ以上の仕事があります。学生時代に多くのものに興味を持ち、いろいろな経験を積むことが、将来に向けての大きな可能性への糸口になると思います。全国にいる先輩方が皆さんの活躍の場を温めてお待ちしております。



日本歯科大学国際姉妹校・協定校(提携順)

校章	提携年/大学名/所在地	校章	提携年/大学名/所在地	校章	提携年/大学名/所在地
	1971年 中山医学大学 台中市 (台湾)		1987年 ブリティッシュ・コロンビア大学 バンクーバー (カナダ)		1997年 アデレード大学 アデレード (オーストラリア)
	1984年 ミンガン大学 アンナーバー (アメリカ)		1987年 マンチェスター大学 マンチェスター (イギリス)		1997年 オタゴ大学 ダニーデン (ニュージーランド)
	1985年 パリ第7大学 パリ (フランス)		1988年 マヒドン大学 バンコク (タイ)		2005年 国立モンゴル健康科学大学 ウランバートル (モンゴル)
	1985年 四川大学 華西口腔医学院 四川省成都 (中国)		1991年 トゥルク大学 トゥルク (フィンランド)		2006年 メリーランド大学 ボルチモア (アメリカ)
	1986年 ベルン大学 ベルン (スイス)		1992年 フィリピン大学 マニラ (フィリピン)		2012年 香港大学 香港 (中国)
	1986年 ヘブライ大学 エルサレム (イスラエル)		1993年 ペンシルバニア大学 フィラデルフィア (アメリカ)		2015年 ダヌーベ・プリバード大学 クレムス (オーストリア)

グローバルな 学術交流活動を展開

本学とミシガン大学歯学部で、1985年5月に「口腔保健のための国際姉妹校連合」(International Union of Schools of Oral Health 略称 IUSOH)を結成しました。この活動は両大学を軸として、世界各国の主要な歯科大学をリングで連携し、1校単位の姉妹校関係ではできない、国際的な学術交流活動を展開しようというグローバルな構想です。本学の姉妹校は現在世界16カ国18校の歯科大学にのぼっています。1985年より本学新潟生命歯学部、ミシガン大学、本学生命歯学部、マンチェスター大学において「国際歯学研修会」が開催されています。



IUSOHニュースレター

7 プリティッシュ・コロンビア大学

ミシガン大学 2
メリーランド大学 16
12 ペンシルバニア大学



スペイン、バルセロナでのIUSOH代表会議



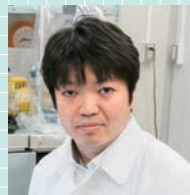
オーストラリア、ブリスベンでのIUSOH代表会議



カナダ、トロントでのIUSOH交流会

世界で学び、 母校に還元

竹澤 康二郎 助教
Kojiro TAKEZAWA
日本歯科大学
解剖学第1講座



私は2015年9月から2017年9月までオーストラリアのアデレード大学歯学部で留学させていただき、系統解剖学研究と医学部・歯学部の教育を行いました。日本と異なる研究手法や教育の違いに初めは戸惑うこともありましたが、非常に貴重な経験となりました。

日本歯科大学はIUSOHを通じて国際交流が盛んであることが一つの特長です。特に、学生同士の交換留学や、若手の教員・研究員を対象とした支援が充実しており、グローバルな交流をすることができます。

私が留学を通じて感じたことは、国際的な交流

は「異文化を体験する・他国に友人や研究者同士の関係性を築く」というだけでなく、「新たなものを生み出す可能性を秘めている」ということです。私はアデレード大学のチームと交流することで、お互いを高め合うことができたと思います。

今後は今回築いた良好な関係を維持しながら両大学の架け橋となり、日本歯科大学に貢献していきたいと思っています。これからも多くの後輩がIUSOHを通して交換留学や研究留学を経験し、日本歯科大学や日本の歯科界の発展に寄与してくれることを祈っております。



アデレード大学の同僚と



|| 新潟女子寮 ||



セキュリティもバッチリ!
お気に入りの女子寮です

大貫 紗恵
Sae ONUKI

新潟生命歯学部2年
【群馬県高崎市出身】

充実した大学生活をサポート

日本歯科大学の女子寮は大学から徒歩5分の距離にあり、とても通いやすいです。各部屋には冷蔵庫やエアコンなどの家電、キッチン、バス、トイレが設置されているため快適に過ごすことができます。そして共同のランドリー室には洗濯機に加えて乾燥機も備え付けられているので、天気の良い日や夜の洗濯にも心配はありません。

寮の玄関はオートロック式で、それぞれの部屋にもカードキーがついているので、セキュリティ面もバッチリです。さらに、寮母さんが常駐しているので、困った時にはすぐに相談ができ、優しく対応してくれます。

1階ロビーには、テレビ、自動販売機、新聞、コピー機があり、くつろげる場所になっ

ています。

歯科大学の寮ならではの言えるのが、歯科技工室があることです。大学の実習課題を持ち帰って、友達と一緒に作業を進められます。

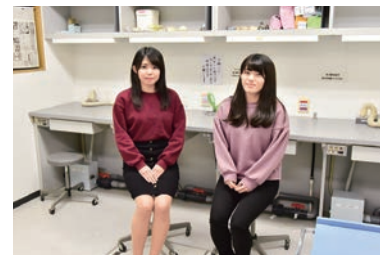
寮では、友達の部屋に集まって一緒に勉強したり、ご飯を食べたり、おしゃべりができたりするので、初めての一人暮らしでも、楽しく感じることができました。中には、入学式前から一緒にご飯を食べていたという人もいます。すぐに同級生だけでなく、先輩とも仲良くなれるので、生活面と勉強面どちらも充実した大学生活になること、間違いなしです!



玄関はオートロック式。寮室はカードキーを使用します



ロビーはお友達と楽しいおしゃべりの場にもなります



歯科大学ならではの技工室もありますので、実習課題を持ち帰って作業することができます

名称	日本歯科大学新潟生命歯学部新潟寮
所在地	新潟市浜浦町
通学時間	新潟生命歯学部より徒歩約5分
建物	地上3階
敷地	999.5m ²
室数	30
入寮費	7万円
寮費	月額3万5千円(光熱費など自費)

寮室	Aタイプ: 21.08m ²
	Bタイプ: 23.46m ²
居室備品	冷蔵庫、ミニキッチン、電気調理器、棚板、机、本棚、ベッド、ミニ筆筒、パイプハンガー、バス、トイレ
共用	共同実習室(技工室)、ランドリー室、ごみ収集室、プレハブ倉庫、自転車庫



大学から徒歩5分の新潟女子寮

ともに学ぶ学友は 一生の財産

父が歯科医師で、実家も歯科医院でしたので物心ついた頃から歯科医師を目指していました。高校時代に進路で迷うこともなかったですね。

日本歯科大学の新潟校を選んだのは、在宅診療に力を入れており、臨床実習でも訪問歯科がカリキュラムに組み込まれていることを知り、その分野の経験を積めるというのが大きな理由でした。

学生時代の思い出は第5学年の臨床実習です。学生時代に実際の患者さんを診療させていただいたことは貴重な経験でした。また、臨床実習では今まであまり接点のなかった同級生とも、一緒にさまざまな診療科を回っているうちに仲良くなりました。国家試験に向けて強い団結心も芽生えるようになり、この頃仲良かった友達は今でもよく連絡を取り合っています。

卒業後は、臨床研修医を経て、東京都内の診療所に勤めた後、現在の歯科医院

平成25年度
新潟生命歯学部卒業
井上 博之 先生
Hiroyuki INOUE
千葉県美浜区
マリブ海浜歯科勤務



に勤務しています。勤務日は水曜日から日曜日までの5日間です。当院は土、日曜日も開院していますので、他の行きつけの診療所さんがお休みで痛みが出てしまった患者さんが来院されるケースも多く、そういった患者さんにはよく感謝されます。

診療にあたり心がけていることは、患者さんにきちんとわかりやすいように説

明をさせていただくこと、誠意をもって対応させていただくことです。患者さんのことを親身に思い、治療するだけでなく、お口の中全体を総合的に診させていただければと思います。

本学には全国各地から学生が集まります。僕も山口県出身ですが、全国津々浦々、さまざまな地域出身の友達ができました。今でもつながりがあるそんな友達が大学時代の一番の財産です。ぜひ、本学に入学して歯学の道を極めるとともに、一生の友達もたくさん作っていただきたいと思います。



しっかりとした説明と、常に誠意をもった診療を心がけています。



学生時代の病院実習でクラスメイトと



就職してから歯周外科の認定医を取得しました





Let's Enjoy!

CAMPUS LIFE

4月、日本歯科大学新潟生命歯学部に入學すると大きな学校行事が続きます。まずは、新入生オリエンテーション合宿。これから6年間学び合う友と親睦を深めます。5月の連休には生命歯学部との合同合宿。6月の浜浦祭では、先輩、後輩の垣根を越えて学生全員で学園祭を盛り上げます。クラブ活動や、志を同じくする仲間とともに、あなたのキャンパスライフを創ってください。



April

4

- 入学式
- 新入生オリエンテーション合宿
- 富士見・浜浦フェスタ
- クラブ活動週間(合同合宿)

May

5

- クラブ活動週間(合同合宿)

June

6

- 創立記念日
- 健康診断
- 浜浦祭

July

7

- 夏期休暇

August

8

- 夏期休暇
- 歯学部学生総合体育大会(歯学体)

September

9

- 前学期定期試験





October

10

•後学期授業開始

November

11

December

12

•冬期休暇

January

1

•冬期休暇

February

2

•後学期定期試験
•歯科医師国家試験

March

3

•卒業式



皆さんの充実した
学生生活をサポート!



八藤後 堯
Takashi YATOGO
学生委員会委員長
新潟生命歯学部4年
[新潟県新潟市出身]

学生会は、いわゆる高校の生徒会のような立ち位置にある組織であり、学校行事の運営に携わっています。1年生から5年生まで和気あいあいと、学年の垣根を越えて楽しく活動しています。

日本歯科大学では部活動に始まり地域交流、交換留学生との交流イベントなど、数多くの課外行事が催されています。学生委員会ではこれらの活動を、学生の皆さんや先生方とともに盛り上げることで、充実したキャンパスライフのサポートをしています。

勉学のみならず、課外活動にも積極的に取り組むことができるのは、日本歯科大学の大きな魅力だと思います。

さまざまな活動を通じて得た友人や先生方との絆や繋がりは、かけがえのない大切なものとなって、多くの場面で私たちに強く後押ししてくれます。

皆さんと一緒に学び、笑いあえることができる日を楽しみにしています。

クラブ活動

日本歯科大学新潟生命歯学部クラブ活動は、体育会系、文化会系、学術会系に分かれ、体育会系は全国の歯科大学が集う全日本歯科学生総合体育大会(歯学体)などの大会で競い合います。また、文化会系や学術会系は、浜浦祭での発表の機会があります。

サッカー部



バドミントン部



ワンダーフォーゲル部



ラグビー部



陸上部と一緒に汗を流しましょう!

陸上競技部には現在男子10名女子7名の総勢17名が所属しており、毎年8月に開催される全日本歯科学生総合体育大会(デンタル)に向けて週に2回活動しています。

練習拠点は陸上競技場を主として、体育館やグラウンドも使用します。昨年度から体育館前に陸上競技用のレーンも設置され、より充実した練習を行うことができるようになりました。昨年のデンタルでは過去最多の入賞や、数多くのメダルを獲得することができました。年々チームとして強くなっているのを実感しています。

1年を通して、デンタル以外にも春の合同合宿で東京校と交流を深め、共にデンタルに向けて汗を流し充実した時間を過ごすことができます。

桜田 貴大
Takahiro SAKURADA

陸上部主将
新潟生命歯学部4年
[北海道札幌市出身]

ぜひクラブ活動に参加してみてね!

充実した環境を誇るスポーツ施設



体育館の1階にはトレーニングルームが完備されています。ランニングマシンやエアロバイク、ベンチプレスや腹筋を鍛えるマシンもありますので、それぞれの用途に応じて身体を鍛えることができます。また、全面に人工芝を敷いたグラウンドはサッカーなどのクラブ活動で使用されており、学生からは好評を得ています。



華道同好会



野球部



バレーボール部



スキー部



写真部



少林寺拳法部



微生物学グルンド



剣道部



陸上部



● 体育会系

- ウィンドサーフィン部
- 剣道部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- サッカー部
- 柔道部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- スキー部
- ソフトテニス部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- ボウリング部
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部
- ダンス同好会
- スキューバダイビング同好会
- スノーボード/サーフィン同好会
- フットサル同好会

● 文化会系

- 軽音楽部
- 国際交流部
- 写真部
- PMA
- 温泉卓球同好会
- 華道同好会
- 茶道同好会
- 自動車同好会
- ESS同好会

● 学術会系

- 解剖学グルンド
- 歯周病学グルンド
- 微生物学グルンド
- 病理学グルンド
- 放射線学グルンド
- 麻酔学グルンド
- SCRП

合同合宿

毎年早春のクラブ活動週間には、新潟と東京の両生命歯学部による合同合宿が約1週間にわたって行われ、ともに汗を流します。両生命歯学部の交流の場として、なくてはならないイベントです。



新潟校と東京校揃って賑やかにやっています！



富士見・浜浦フェスタ



「富士見・浜浦フェスタ」は新潟生命歯学部・生命歯学部の第4学年を対象に行われる合同ワークショップで、2018年は福島県猪苗代で開催されました。

“望まれる歯科医師像とは”をテーマとし、1泊2日の緊密なスケジュールで、新潟校と東京校の学生を混合した班分けをし、課題にしたがい議論を重ね、発表を行います。これにより、日本の歯科医療に貢献する歯科医師となるために、全国29校の歯科大学・歯学部を先導する日本歯科大学特有のプロフェッショナリズムを身に付けることを目標としています。

1つの日本歯科大学を実感



中野 葉月
Hazuki NAKANO
新潟生命歯学部5年
【新潟県上越市出身】

4月末からゴールデンウィーク初めにかけて開催された富士見・浜浦フェスタと、引き続き行われた東京校との合同合宿に参加しました。

富士見・浜浦フェスタでは東京校と新潟校の絆を超えた熱い議論が繰り返され、最後のプレゼンテーションに向けて皆の力が結集して、終了時には深い絆が生まれていました。国家試験に向けて残り2年間、同期と共に切磋琢磨して合格を掴み取りたいと強く思いました。

また、合同合宿では東京校と練習試合を行い、日頃の練習の成果を互いに発揮して、競い合いながら技術、体力を磨き上げることができました。

フェスタと合同合宿は東京校の学生と交流する良い機会となり、1つの日本歯科大学を実感することができる素晴らしい経験になりました。

浜浦祭

浜浦祭は6月に開かれます。新潟短期大学の学生も参加し、学内の敷地には模擬店が並び、特設ステージではイベントがいろいろを添えます。歯科大学ならではの無料歯科相談や公開講座も行われます。



豪華賞品が当たるビンゴ大会!



歯科大学ならではの「無料歯科相談」



お待ちしております!



公開講座



対外試合



オープンキャンパスも同時開催

アイスクリームもおいしいよ!



素敵な思い出となる文化祭をつくります!



一木 昌司
Masashi ICHIKI
浜浦祭実行委員長
新潟生命歯学部3年
【佐賀県鳥栖市出身】

浜浦祭はわれわれ学生が主体となって、さまざまなアイデアを出し合い企画運営している学園祭です。

芸能人の方をお呼びして行うスペシャルライブや、各部活、同好会による模擬店の営業など、見どころ盛りだくさんとなっています。

また同時に新潟病院では、本学学生による無料の歯科検診が、さらに講堂では学内の先生方による一般の方を対象にした公開講座が催され、学外の方も含め毎年大盛況となっております。浜浦祭が学生のみならず、ご来場いただいたみなさまにとって楽しく素敵な思い出となるよう、浜浦祭実行委員一同がんばっていきなしたいと思います。

興味のある方はぜひ来てみませんか? 6月第2週の週末に大学でお待ちしています。

My NDU LIFE ¹

日歯新潟に通う先輩たちはふだんどんな生活をしているのかな？先輩たちのある1日をちょっとのぞいてみよう！



山口 美憂
Miyu YAMAGUCHI

新潟生命歯学部2年
[富山県富山市出身]

新しい生活、自立の第一歩！

去年の4月、私はここで新しい生活をスタートしました。この大学に入学して最初の1週間は、オリエンテーションや、部活動の勧誘、さらに新しい友達との出会いでもとてもめまぐるしく、あっという間に過ぎていきました。それでも、いろいろなことが一段落して落ち着くと、一気に寂しさと、これから続いていく大学生活への不安が襲ってきて、とても実家が恋しくなりました。

そんな時に私を支えてくれたのが友達と先輩の存在です。寂しさは友達と思いきり騒いで吹き飛ばし、大学生活への不安は先輩に相談してアドバイスをもらいました。寂

しさと不安は徐々に薄れていき、消えてなくなりました。

そういった経験からも、新しく入学してくる1年生にはぜひ部活動に入って交流を広げてほしいと思います。

1年生の前期授業は高校の延長のような面も多く、勉強面での不安はあまりないと思います。しかし、後期からは少しだけですが、歯科に関することも学び始めます。さらに、実際に歯科器具を用いた実習もありますので、後期になってようやく歯科大生としての実感が湧いてきました。

これからは、歯科医師になった将来の自分の姿をイメージして勉強に励み、頑張っていきたいと思います。

山口さんのとある1日

8:30



8時45分からの授業に備えて、余裕を持って登校

1 起床

1 登校

1 実習

1 お昼休み

1 授業

1 クラブ活動

1 部員と夕食

1 明日の予習

1 就寝

How is it?



10:30



ファンダメンタルスキル実習Ⅱでは手先の技術を養っています

12:30



天気の良い日のお昼休みには、ベンチでお友達とおしゃべりが楽しいです

Yummy!



14:00



LBPの授業では問題解決に向けた議論をグループで行います

18:30



クラブ活動はダンス同好会に所属しています。仲間との交流はとてもかけがえのない、大切な時間です



授業にクラブ活動、毎日充実しています!



My Favorite Point!

1年生 山口さんの1週間

□は実習

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
8:45	熱と物質の物理	総合英語	健康科学Ⅰ	材料科学	ファンダメンタルスキル実習Ⅰ
10:30	実用医学英語Ⅰ	生体物質の化学	ヒトの一生	国語表現法	ファンダメンタルスキル実習Ⅱ
12:00	お昼休み				
13:00	経済学	自然現象の数学	環境学の基礎	青年心理学	
14:45	基礎科学演習	基礎独語	歯科入門実習	医学概論・ 歯科医学史	歯科医学入門演習 (LBP)
16:30				細胞の生物学	
18:00	ダンス同好会	ショッピング	教室で勉強	友達とご飯	学習室で勉強



姜 裕奈

Yuna KAN

新潟生命歯学部6年
[東京都江戸川区出身]

あっという間の充実した1年間

毎朝8時半に登校し、当日の診療内容と使用する器具などを確認し、準備を行います。9時から病院実習が始まり、見学と診療補助を行います。座学で習った知識と実際の診療を照らし合わせながら見学し、疑問に思った所は担当医の先生に確認し、すぐに解決するようにしています。

座学で疾患の特徴、処置を学びましたが、臨床の場では同じ疾患でも患者さんの症例ごとに対処、対応が違い、患者さんに合わせた臨機応変な処置をすることが求められます。そのためにも、教科書で基本となる知識を身につけることは必要不可欠であると感じました。

印象に残っているのは、総合診療科で指導医の先生のもと、初

診時よりある患者さんを担当したことです。入れ歯を新製する患者さんでしたが、古い入れ歯が使えなくなった経緯から、新しい入れ歯の装着まで、全ての入れ歯新製の手順を実際に見ることができ、大変勉強になりました。そしてなによりも、ものが噛めないと言っていた患者さんが、ご飯が美味しく食べられるようになったと言って感謝いただいた時の表情は忘れられません。

あっという間に18時になり1日の実習が終わります。帰宅前に1日の実習を振り返り、頭の中を整理します。放課後はITセンターで勉強して、帰りに友人とごはんを食べます。

週末は自分の時間を満喫♪ 登院実習中心の第5学年は日々充実しており、あっという間の1年です。

姜さんのとある1日

Lunch Time♪



13:00



お昼の空いた時間に GAKUSHOKU でランチをいただきます



起床



登校



病院実習

10:00



総合診療科では患者さんの診療も行います



ランチ

14:00



時間ができたら病院内にあるスキルラボ室で自習しています



病院実習



ITセンター
で勉強

15:00



放射線科ではCT スキャンなどの医療機器についても学びます



友達と
夕食

18:30



病院実習が終わったらITセンターで勉強します。静かな環境で遅くまで勉強できるのでとっても気に入ってます!



明日の予習



就寝

病院実習での空いた時間も大事にしています!



My Favorite Point!

5年生

姜さんの1週間

□は実習

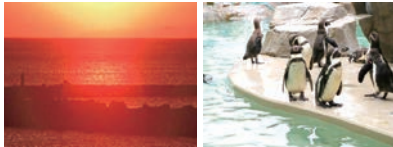
	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
8:45					
10:30	病院実習	病院実習	病院実習	医科病院 (耳鼻科)実習	病院実習
12:00	お昼休み				
13:00	病院実習	病院実習	在宅診療実習	病院実習	地域保健実習
18:00	ITセンターで勉強	カフェで自習	ITセンターで勉強	友達とロビーで勉強	友達とご飯

すてきNIIGATA!

新潟生命歯学部のある新潟市中央区は市の中心に位置し、緑も多く生活に便利なところ。皆さんが大学生活を送る魅力たっぷりの新潟市のおすすめスポットをご紹介します。

西海岸周辺

新潟生命歯学部のすぐ近くにある関屋浜の夕景①は「絶景」の一言。マリンピア日本海②は本州日本海側最大級の水族館。大人気のイルカのショーはチャンスがあればステージに参加することもできます。



①関屋浜の夕景 ②マリンピア日本海

古町周辺

昔ながらの街並みを残す古町エリアには、多くのお店が連なる古町モールがあります。新潟名物たれかつ丼で有名なとんかつ太郎③も古町にあります。初詣や新潟まつりで賑わう白山神社④も古町エリアから少し足をのびしたところにあります。



③とんかつ太郎 ④白山神社

柳都大橋周辺

朱鷺メッセ⑤はさまざまなイベントが開催されるコンベンションセンター。31階にある展望台からは市内を一望することができます。信濃川の河口にあるみなとびあ⑥は新潟市の歴史博物館です。



⑤朱鷺メッセ ⑥みなとびあ

万代周辺

日本百名橋のひとつ萬代橋⑦付近は、大型ファッションビルのLoveLa万代やLoveLa2⑧、映画館の入るビルボードプレイスなどが立ち並ぶ新潟市一の繁華街。万代シティバスセンターには大人気のカレーが食べられるお蕎麦屋さんがいます。ぜひ一度お試しを！



⑦萬代橋 ⑧LoveLa2

やすらぎ堤周辺

りゅーとびあ⑨はコンサートホールや劇場などを備えた新潟市民芸術文化会館。やすらぎ堤⑩は信濃川下流の堤防で、新潟市政100周年植樹祭で植えられた桜と柳が河川沿いに続き、市民の憩いの場となっています。



⑨りゅーとびあ ⑩やすらぎ堤

スポーツ観戦

Jリーグ、アルビレックス新潟の本拠地がビッグスワンスタジアム⑪。試合開催の当日は熱狂的サポーターでスタジアムは超満員になります。その際にはHARD OFF ECOスタジアム⑫がありプロ野球の公式戦も開催されます。



⑪デンカビッグスワンスタジアム ⑫HARD OFF ECOスタジアム

NIIGATA City Map




全国各地から学生が集まっています！

新潟市は、毎年100万人が利用する新潟空港や、関越自動車道、北陸自動車道、日本海東北自動車道、磐越自動車道、さらに東京まで最短97分の上越新幹線などインフラが整っており、全国から学生が集まっています。そんな故郷を離れ新潟で学ぶ学生の声をお聞かせください。

海外の都市にも直行！

ウラジオストク(ロシア)まで	約1時間30分
ソウル(韓国)まで	約2時間30分
上海(中国)まで	約3時間
グアム(アメリカ)まで	約3時間45分


北海道



室井 百代
Momoyo MUROI
新潟生命歯学部 2年
[北海道二海郡出身]

北海道の函館からは、札幌の新千歳空港まで移動して、新潟空港まで一本で行けるので大変便利です。函館から2時間半程度で新潟にいられますし、最近は新幹線を使っても新潟に行けるようになりました。新潟は北海道と比べて、雪が少ないので大変過ごしやすいです。


大阪



中村 誠仁
Masahito NAKAMURA
新潟生命歯学部 2年
[大阪府大阪市出身]

大阪から新潟へは、伊丹空港から飛行機を使って1時間程度で来られるので大変便利です。新潟は大阪と違って自然が多くとても気に入っています。また、サッカー部に所属していますが、人工芝のグラウンドがあって部活も充実して過ごすことができます。


沖縄



上地 奈穂子
Nahoko UECHI
新潟生命歯学部 2年
[沖縄県那覇市出身]

沖縄から新潟へは、冬場は新潟-沖縄間の直行便があるので大変便利です。バドミントン部に所属しており、新しくなった体育館を快適に使っています。新潟市内は夏もそんなに暑くないですし、冬も雪はそれほど降らないのでとても暮らしやすいところです。

香川



磯野 まりな
Marina ISONO
新潟生命歯学部 2年
[香川県観音寺市出身]

香川から新潟へは、岡山経由で新幹線を使って来っていますが、大阪を経由して飛行機で来することもできます。新潟の夏は香川と比べて涼しくて過ごしやすいですし、大学からは海も近いので楽しみがあります。冬も新潟市内は雪が思ったより少なくて快適です。

東京



山田 英里佳
Erika YAMADA
新潟生命歯学部 2年
[東京都日野市出身]

東京から新潟へは、上越新幹線を使って2時間程度なので大変便利です。部活は硬式テニス部に所属しており、新しくなった綺麗なテニスコートをいつでも使えるので大変充実した部活動を行えます。新潟は美味しい食べ物が多いので食で困ることもありません。

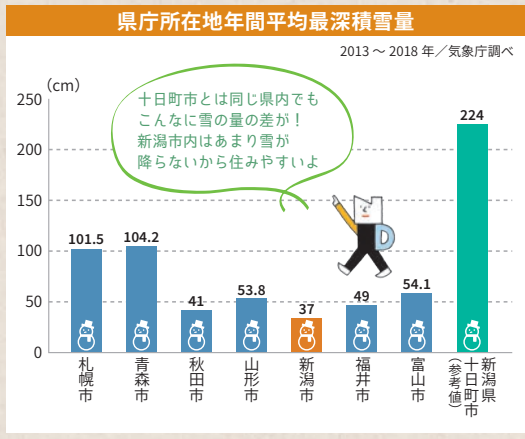


日本海側最大の交通拠点

毎年約100万人が利用する新潟の空の玄関口、新潟空港。国内線は北は札幌から南は沖縄まで、多くの主要都市と直通便が通っています。国際航路もソウルをはじめ多数の直行便が開設されています。東京へは、上越新幹線で最短97分！ 関西方面へのアクセスも充実しています。関越自動車道や北陸自動車道などの高速道路も整備されており、車、高速バスの移動も便利です。また海路も新日本海フェリーでは、新潟を経由して敦賀と北海道を結んでいます。2007年、政令指定都市に制定された新潟は、日本海側最大の都市として発展を続けています。

年中通して過ごしやすい気候

新潟といえば雪深く寒いというイメージですが、右のグラフからもわかるように内陸部は別として、新潟市は降雪量は少なく、積もることはあまりありません。1、2月の最低気温も氷点以下になることの方がまれです。また、夏季の平均気温もそれほど高くないことから、1年を通してとても過ごしやすい都市といえます。



医の博物館



豊原国周
「東京三十六会席 柳橋しち 大代地 巴屋」

国内外の医学資料を公開

日本で初めて開設された公的な医学博物館です。16世紀から現在に至る東西の古医書、医療器械器具、その他記録類などを一般公開しています。なかでも解体新書の原本や、房楊枝を使って歯磨きをする江戸時代の浮世絵など、普段目に

しない珍しい資料が多く、興味が尽きない博物館です。姉妹館として、パリのピエール・フォシャル博物館、アメリカのハートフォード医学・歯科医学歴史博物館、中国の中国口腔医学博物館があります。



B.S.アルビヌス『人体筋骨構造図譜』

『解体新書』
（『ターヘルアナムトミア』日本語訳）



J.A.クルムス著『ターヘルアナムトミア』原書
（オランダ語版）



ピエール・フォシャル著『外科歯科医』

医療の進歩を 感じられる場所



森 千紘
Chihiro MORI
新潟生命歯学部2年
[長野県塩尻市出身]

現在の医療の現場ではさまざまな器具が使われています。医の博物館では、その器具の原点とも言えるものがとても多く展示され、現在の医療がどれだけ進歩したものなのか、そして、そのような歴史があるからこそ今の医療がある、ということを実際に見て感じることができます。

また1学年では医学・歯科医学の歴史について学ぶ授業があります。館内を見ると、その授業内で出てきた内容の理解を深めることができ、歯科医学の歴史を学ぶことに対する意欲を向上させてくれる、素晴らしい空間だと思います。



校友会・歯学会



校友会歯学会入会歓迎会

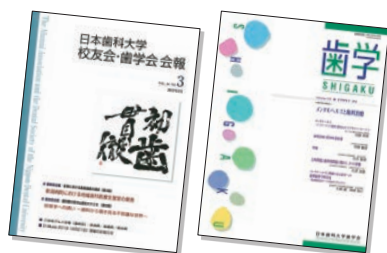
歯科界の向上を目指して

新潟生命歯学部と生命歯学部の卒業生は、同窓生の組織である「日本歯科大学校友会」と学術組織である「日本歯科大学歯学会」に加入します。なお、同じ年度に新潟生命歯学部あるいは、生命歯学部を卒業した者は、互いに区別なく同じ卒回の校友会員となります。

本校友会は、わが国における歯科大学の同窓会組織としては、最大規模を誇っています。そして、校友会員として先輩・後輩と固い絆に結ばれて、歯科界において有形無形に協力しあって、自らの向上に務めています。

校友会と歯学会は協力して、生涯研修活動を実施しています。毎年地区を巡って開催する「歯学研修会」と、本学に集って行う「ポストグラジュエート・コース」および本学独自の企画である「国際歯学研修会」の三本立てで卒業研修を行っています。

このように卒業後も本学との関係を密接に保ち、研修会、定期刊行物などを通して、歯学界の発展という共通の目標のもと、生涯にわたり学術研鑽への道を歩み続けています。



校友会・歯学会が発行する『校友会・歯学会会報』は年4回、『歯学』は臨床と研究を一体とした学際的内容が中心。年2回発行。



国際歯学研修会



学術フォーラム

MESSAGE

ようこそ日本歯科大学校友会へ



宮川 慎二郎 先生
Shinjiro MIYAGAWA

日本歯科大学新潟歯学部75回卒業
日本歯科大学校友会 常務理事
(医) 落合歯科医院理事長

私は新潟校を卒業し、現在小児歯科医として開業医をしています。大学時代はボート部に所属し、関屋分水で汗を流していました。ずいぶん様変わりしているのですが、この大学に来ると、懐かしくほっとした気分になりやはり母校というのは素晴らしいです。

本学は2万余名の卒業生を抱える世界最大の歯科大学で、卒業後に何処に行かれたとしても、母校の先輩方に見守っていただけます。

校友会といっても学生の皆さんはピンとこないかもしれませんが、卒業して開業する頃は周りに同級生はいなく、不安になったり困った時の相談相手もいません。そんな時、経験豊富な先輩が助けてくれます。日本歯科大学校友会の団結は強く、他校のものとは全く違います。

私の場合、実家が歯科とは関係のない職業でしたので、卒業時に不安がありました。小児歯科医師を目指し、千葉の大きな診療所に勤務しました。この時も知り合いがいないのに小児歯科の診療所にすぐに勤められたのは、日本歯科大学出身のおかげでした。当然、日本歯科大学校友会の先生の診療所でした。開業の時にも日本歯科大学の先輩に助けられました。

校友会は卒業生をまとめ、日本歯科大学を支える組織です。困った時には何でも相談に乗ってくださる先輩方がいますので遠慮なくご連絡ください。

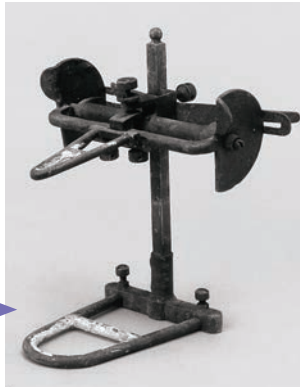
日本歯科大学創立112周年 これまでのあゆみ

創立者 ● 中原市五郎 先生

歯科界のパイオニアとして



中原式咬合器



創立者中原市五郎は、慶応3年長野県上伊那郡下平村(現在の駒ヶ根市赤穂村)に生まれる。明治22年5月歯科医術開業免許を受け、23年中原歯科医院を開業。一方麹町区区議員となり、子どもたちの口腔衛生の向上に努める。これは学校歯科医制度の先駆けで、『児童と歯牙の関係』も刊行した。

10数年来念願であった歯科専門機関の創設に向けて力を注ぎ、明治40年6月私立共立歯科医学校を設立。明治44年2月、日本歯科大学専門学校校長に就任。大正4年9月メリーランド大学より学位ドクトル・オブ・サイエンスを贈られる。大正8年12月日本歯科大学専門学校理事長に就任し、本学発展の基盤を築いた。昭和11年8月名誉校長となる。若い頃からの熱心な勉学、旺盛な研究心で、中原式咬合器など歯科医学に関する多くの発明もある。書、俳句、短歌を好む。昭和16年3月22日逝去、75歳。

動画を
Check!!



名誉学長 ● 中原 實 先生

芸術、教育、医療人として頂点を極めた巨匠



撮影：秋山庄太郎



ヴィーナスの誕生
(油彩・カンバス)
115×90cm

中原實は大正4年日本歯科大学専門学校卒業。大正7年ハーバード大学歯学科卒業。第一次大戦の真ただなかに渡欧。パリで義勇兵を志願し、仏国歯科軍医として、ヴァル・ド・グラス陸軍病院、ビシーの第45戦時病院に勤務、顔面戦傷の兵士の治療にあたった。終戦後、歯科教育事情視察のため、ヨーロッパ各地に滞在。一方、西欧の絵画芸術に魅せられ、安アパートに住まい、モデルのデッサンに励み、ルーブル美術館や画廊をめぐり、若きピカソと一緒に絵を描き、藤田嗣治と意気投合するなど、絵画芸術に傾倒した。大正12年帰国し本学教授となる。昭和16年本学理事長に就任。昭和37年日本歯科医師会会長となる。昭和47年日本私立大学協会会長。自ら絵筆を取り、二科会理事の任にも就く。その作品はわが国を代表する前衛画家として今も光彩を放っている。平成2年10月15日逝去、99歳。

日本歯科大学新聞

『日本歯科大学新聞』は昭和23年4月に創刊され、すでに650号を超える本学の新聞。創刊当初は学生が主体となり編集作業を行っていた。昭和47年からは学内報として現在と同じ小型のタブロイド版となった。

創刊号と第2号は散逸していたが、姉妹校のメリーランド大学図書館に収蔵されていることがわかり、現在は日本の国立国会図書館でもマイクロフィルムで閲覧できる。

年8回発行。1年間の縮刷版も発行している。



日本歯科大学新聞創刊号(昭和23年)



日本歯科大学新聞654号(平成30年)

日本歯科大学新聞653号(平成30年)

1867	(慶応3年)	5月	中原市五郎、長野県にて生まれる
1889	(明治22年)	6月	歯科医術開業試験に合格し、麴町で開業
1907	(明治40年)	6月	中原市五郎、私立共立歯科医学校を麴町区(千代田区)大手町に創立
		10月	神田区(千代田区)神田雉子町34番地に移転
1909	(明治42年)	6月	麴町区富士見町に移転、私立日本歯科医学校と改称
1911	(明治44年)	2月	中原市五郎、校長に就任
1919	(大正8年)	12月	財団法人日本歯科医学専門学校に昇格。中原市五郎、理事長に就任
1936	(昭和11年)	9月	中原市五郎、名誉校長となり、加藤清治、校長に就任
1941	(昭和16年)	3月	中原 實、理事長に就任
1947	(昭和22年)	6月	旧制日本歯科大学に昇格、大学予科を開設
1948	(昭和23年)	1月	中原 實、学長に就任
1951	(昭和26年)	2月	学校法人日本歯科大学となる
1952	(昭和27年)	4月	新制日本歯科大学となる
1960	(昭和35年)	4月	大学院歯学研究科(博士課程)を設置
1968	(昭和43年)	4月	附属日本歯科技工専門学校(歯科技工士科)を設置
1971	(昭和46年)	4月	附属日本歯科技工専門学校を附属歯科専門学校と改称、歯科衛生士科を増設
1972	(昭和47年)	4月	新潟歯学部を増設
1981	(昭和56年)	4月	中原 爽、学長に就任
		6月	新潟歯学部附属医科病院を開院
1983	(昭和58年)	4月	附属新潟専門学校(歯科衛生士科)を設置
1984	(昭和59年)	8月	中原 爽、理事長に就任
1985	(昭和60年)	5月	本学主導の「口腔保健のための国際姉妹校連合IUSOH」を結成
1987	(昭和62年)	4月	附属新潟専門学校を新潟短期大学(歯科衛生学科)に昇格
1989	(平成元年)	9月	新潟歯学部内に医の博物館を開館
1990	(平成2年)	4月	大学院新潟歯学研究科(博士課程)を設置
1991	(平成3年)	4月	中原 泉、学長に就任
1995	(平成7年)	6月	佐藤 亨、学長に就任
1999	(平成11年)	2月	新潟歯学部に先端研究センターを設置
2000	(平成12年)	4月	中原 泉、学長に就任
		7月	中原 泉、理事長に就任
2005	(平成17年)	4月	附属歯科専門学校を東京短期大学に昇格
2006	(平成18年)	1月	千代田区大手町に「日本歯科大学発祥の地」記念碑を建立
		4月	歯学部を生命歯学部、新潟歯学部を新潟生命歯学部に変更
		6月	創立100周年。100周年記念館を竣工
2012	(平成24年)	10月	東京都小金井市に口腔リハビリテーション多摩クリニックを開院
2016	(平成28年)	12月	新潟生命歯学部生物科学施設改修
2017	(平成29年)	7月	米国国際誌『Foreign Affairs』に本学記事が掲載される
2018	(平成30年)	4月	新潟県三条市に在宅ケア新潟クリニック開院



1909年当時の校舎



1934年当時の附属病院



1972年新潟歯学部入学式



開院当時の新潟病院・医科病院



医の博物館



先端研究センター





創立110周年記念式典



新潟生命歯学部生物科学施設



在宅ケア新潟クリニック

日本歯科大学の歴史をまとめた動画はこちら →   動画を Check!!

サポート体制

● 学術奨励制度

- ▶ 優秀な人材を育成することを目的として、学力・人物とも優れた者に学術奨励金を支給します。
- ▶ 年度末に選考を行い、各学年10名以内に対し、1名の者に30万円、そのほかの者には各々10万円を一括支給します。
- ▶ 学術奨励金は、返還を必要としません。

● 育英奨励制度

- ▶ 在学中、不幸にして学費負担者が死去したために修学が困難になった場合、学生の経済的援助を行うことを目的として、育英奨励金を支給します。
- ▶ 育英奨励金は毎月7万円、年額84万円を支給します。
- ▶ 育英奨励金は、返済を必要としません。

● 特待生制度

- ▶ 入学試験において成績上位者、成績優秀者および地域特待があり、入学金、授業料、教育充実費、施設維持費をすべて半額に減免するという制度です。

学生納付金

	特待生	一般学生
入 学 金	300,000円	600,000円
年 間 授 業 料	1,900,000円	3,800,000円
年間教育充実費	365,000円	730,000円
年間施設維持費	300,000円	600,000円
6 年 間 合 計	15,690,000円	31,380,000円

*学費ローンについて 学校法人日本歯科大学では、入学金や授業料の支払いに利用できる学費ローンを信販会社3社と提携しております。お問い合わせ・ご相談は入試課へ。(025-267-1500)

● 医科病院が“保健室”代わりに

附属の医科病院は、内科、外科、耳鼻咽喉科で構成され、臨床実習などで関連医学を学習します。万一具合が悪くなった場合、医科病院が“保健室”の役割を担っています。また、臨床心理士が毎週来校しており、精神面や生活面に関するさまざまな悩みを相談できます。

● 保護者説明懇談会

学年ごとに保護者にお集まりいただき、国家試験などの現状を報告するとともに、クラスの指導方針などについて説明しています。



● 国家試験対策

第1学年から第6学年にかけて、各レベルに応じた整合性のある段階的な教育を実施しています。第6学年では、

これまで学んだ基礎系・臨床系科目の内容と臨床実習での成果をもとに、総合的な歯科医学を徹底的に学びます。

新潟と東京の両生命歯学部連携

● 交換授業

日本歯科大学は新潟と東京に2つの歯学部がありますが、同じ教育方針を共有し学生に対し指導しております。その1つとして、さまざまな授業科目で新潟生命歯学部、東京の生命歯学部の教員がお互いに行き来し、授業をする交換授業を行っています。



新潟生命歯学部の教壇に立つ東京校小児歯科学講座の苅部洋行教授

● 合同ワークショップ

少子高齢化を伴う地域医療、最先端の医療技術など医療はさまざまな対応が迫られています。そうした社会要請にこたえるために、教員および職員の能力向上のため研修を積極的に展開しています。合同ワークショップの期間中、新潟と東京の教職員が昼夜を問わず白熱した議論を交わします。



合同ワークショップ

OPEN CAMPUS 2019

日本歯科大学新潟生命歯学部オープンキャンパス

2019年 開催日程(予定)

全日程 開始 11:20(受付 10:30)～終了 16:00

6/8

(土)

浜浦祭と
同時開催

7/6

(土)

7/24

(水)

8/6

(火)

8/24

(土)

9/28

(土)

おもなプログラム(予定)



受付

在学生が皆さまをお出迎えます



大学説明会

教員や在学生による説明会を実施します



ランチ

ランチを食べながら在学生にさまざまな話を聞くことができます



体験実習

マルチメディア臨床基礎実習室を使って体験実習を行います



キャンパスツアー

学部の施設だけでなく、新潟病院内も見学します。このほか、女子寮見学や入試個別相談も行っています



ここがポイント!

- マルチメディア臨床基礎実習室のすばらしさを体験
- 服装は自由(白衣は貸出しいたします)
- ご家族の同伴も歓迎(保護者説明会も開催予定)
- 参加者は受験料が免除(1回分)
- 新潟市外から参加の方へホテル宿泊補助

※AO入試の受験はオープンキャンパスへの参加が条件です。

お問い合わせは

日本歯科大学新潟生命歯学部 入試課

Tel. 025-267-1500

詳しくはWebへ!

日本歯科大学新潟生命歯学部 ホームページ

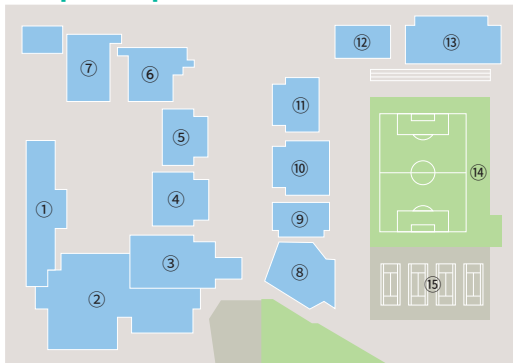
<http://www.ngt.ndu.ac.jp>

◆ 入学者受入方針(アドミッションポリシー) ◆

本学はディプロマポリシーを達成するために、下記のような学生を求めています。

- ・生命体と歯科医学の関連に強い関心をもって、追求できる人
- ・高い目標意識を持ち、相手の気持ちを理解できる人間性豊かな人
- ・医療人として地域社会に貢献する強固な意志をもつ人
- ・歯科医学に関する知識、技能、態度を十分習得できる基礎学力のある人
- ・プロフェッションとして高い倫理観をもつ人
- ・高いコミュニケーション能力をもつ人
- ・国際的な活動に関心を持ち、必要性を認識できる人
- ・超高齢社会における歯科医療の役割を理解できる人
- ・生涯にわたり継続的に能力の向上に努める人

Campus Map



- ① 医科病院
- ② 新潟病院(コンビニエンスストア)
- ③ 本館(事務室・図書館)
- ④ 1号館(アイヴィホール・講義室・マルチメディア臨床基礎実習室)
- ⑤ 2号館(講義室・実習室・ITセンター)
- ⑥ 3号館(新潟短期大学主要校舎)
- ⑦ 先端研究センター
- ⑧ 講堂
- ⑨ 医の博物館、GAKUSHOKU、売店
- ⑩ 4号館(講義室・実習室・セミナー室)
- ⑪ 5号館(講義室・実習室)
- ⑫ 学生会館(武道場)
- ⑬ 屋内運動場(トレーニングルーム)
- ⑭ グラウンド
- ⑮ テニスコート

Google インドアビュー

大学施設の内部をWEBから覗いてみよう!



大学は敷地内全面禁煙を実施しています。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。
キャンパス禁煙支援委員会

Access Map



- ➡ 新潟駅前バスターミナルより「浜浦町線(西循環浜浦町先回り)」で約25分、浜浦町1丁目下車 徒歩 1分
- ➡ JR越後線関屋駅から徒歩10分
- ➡ JR新潟駅から車で約15分



日本歯科大学 新潟生命歯学部

〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8 Tel: 025-267-1500

新潟生命歯学部

検索



入学試験要項のご請求はこちらへ